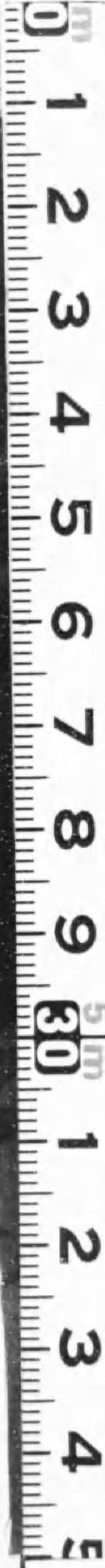
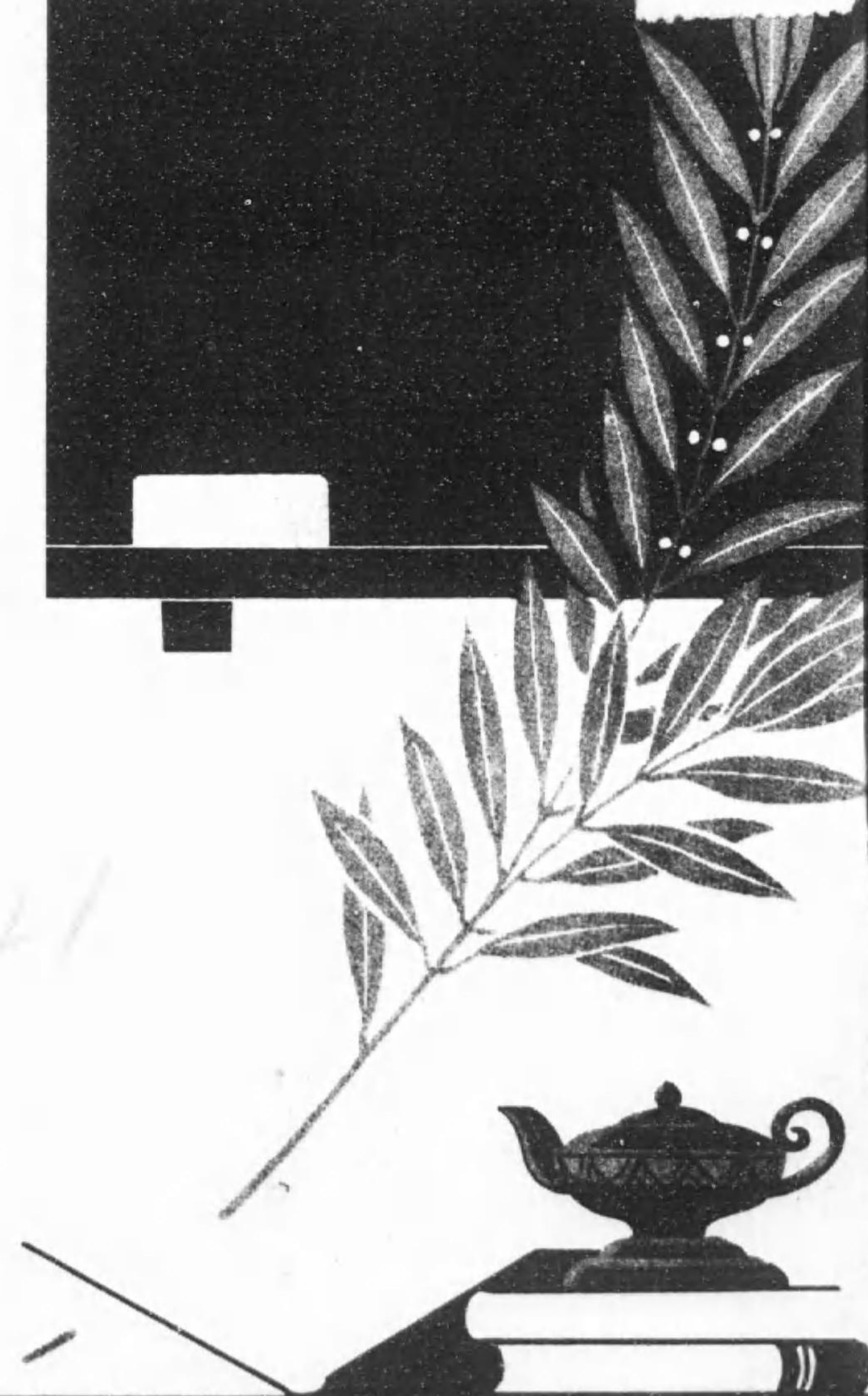


産婆になるには

書叢導指美
編七十第

特220

201



始



特220
201



産婆になるには

職業指導研究会編

職業指導叢書(第十七編)

東京 三友社 發行



序

大海に船出するには羅針盤が必要である。これと同様に、數ある職業の中から吾々の一生を托する職業を選ぶには又職業選擇の羅針盤が必要である。職業指導書は、これから、人生々活の第一歩を踏み出さうとする人達の爲に、陸軍々人、海軍々人、小學校教員、醫師、看護婦、産婆、美容師等々と、出来る限りの職業を網羅して、此等各職業の性質を説明し、かくくゝの職業に就くには、かくくゝの道順を通らねばならぬ、かくかくの業務を習得するには、かくくゝの手續きを踏まねばならぬと云ふことを叙述したものである。

人には各天分があつて何人も自己の天分に適應した職業を選ばなければ

ばならぬ。自己の天分に適應した職業を選ぶと云ふことは、單に自己の幸福の爲だけでなく、國家社會に對しても當然なさねばならぬことである。なんとすれば、國家社會は各人が各其の天分に應じて出来るだけ奉仕するところに其の發展が期せられるからである。

本叢書はそれごとく其の道の専門家に依頼して、執筆してもらつたものであるが、紙數に制限あり、一方公刊をいそいだ爲に、或は多少の缺陷があるかもしれない。然しこれは他日の補正を期することにして、兎にも角にも本書の上梓が職業選擇の上に何等かの参考になるならば幸である。

編者識す

昭和八年十月

目次

第一章 産婆になるには……………	一
第一節 産婆の職業と社會的地位……………	一
第二節 産婆になる人の資格……………	二
第三節 産婆になる人の心得……………	五
第二章 如何にして産婆になるか……………	九
第一節 勉學に就ての注意……………	九
第二節 勉學の方法……………	三
イ 學校で學ぶ方法……………	三
ロ 獨學の方法……………	二七
第三節 理想的勉強法……………	三
第三章 試験は……………	三

第一節 試験科目……………三

第二節 試験問題……………三

第三節 答案の書き方……………四

第四章 手続法……………五

第一節 試験期日……………五

第二節 試験出願書類の書き方……………五

第三節 願書提出の方法……………五

第五章 受け方に就ての注意……………六

第一節 試験前日及當日の注意……………六

第二節 實地試験の心得……………六

第六章 無試験にて資格を得る法……………六

第七章 受 験 記……………八

第八章 産婆諸規定集……………一〇六

産婆 になるには

第一章 産婆になるには

第一節 産婆の職業と社會的地位

職業に貴賤はないと古今東西、等しく唱へられて居りますが、賤しい職業はなくても貴い職業は有るものと思ひます。人が世の中に生れるに際して必要缺くべからざる産婆の業務こそ最も貴い職業の一つであります。助産の業務は國家的社會的で直接人類の幸不幸に關するものであります。即ち助産は母子兩體の健康と生命とに關して責任をもつ最も重大な又極めて尊敬すべき職業であります。従つて今日産婆の社會的地位或は收入等の點から見ましても、他の婦人の職業に比較して遙に優越な地位を占めて居ります。試みにその收入の方を調べて見ますと、女學校の先生のそれにも匹敵

し、又少し評判が立つと、實に驚く程の収入があります。田舎ではそう思ふ様には行きませんが、それでも相當の収入があります。斯く婦人の職業としては其の収入の點から云つて、優に男子と對抗し得るものであります。その上社會の人々は凡て好意と感謝の念を以て遇してくれます。

産婆は比較的短期間に其の資格が得られますから、この貴い恵まれた産婆の事業を志される人の數は年々増加して、現在では約五萬人の多きに達して居ります。皆様も恐らく、將來職業婦人として男子に伍して獨立して行こう、或は自分の一家を背負つて立たうと云ふ堅い決心の下に、産婆を志された方かと存じます。

産婆になるには如何なる資格が必要であるか、又産婆として立つて行くには如何なる心掛が必要であるかを以下順次説明致しませう。

第二節 産婆になる人の資格

イ 法的に

産婆規則第一條に「産婆タラントスル者ハ二十年以上ノ女子ニシテ左ノ資格ヲ有シ産婆名簿ニ登録ヲ受クルコトヲ要ス

一、産婆試験ニ合格シタルモノ

二、内務大臣ノ指定シタル學校又ハ講習所ヲ卒業シタルモノ

とあります。右に二十歳以上の女子と定めてありますが、産婆試験をうけるのは二十才以下でも差支へないのです。二十歳以下で試験に合格した場合は合格證書を交附され、滿二十才に達したとき産婆名簿に登録を受けて免許證を貰ふのです。産婆になるには産婆試験に合格するか又は内務大臣指定の學校或は講習所を卒業しなければなりません。これに就ては後章に詳しく述べる事に致します。

第三條に「一箇年以上産婆ノ學術ヲ修業シタル者ニ非サレバ産婆試験ヲ受クル事ヲ得ス」とあります。これは學校で半年醫師に就て二ヶ月、産婆に就て四ヶ月と云ふ様に全部を合計して一ケ年になつてもよいのです。「學校で學ぶ方法」の項をよく御覽になつて下さい。

以上は最も必要な事項の二三を掲げたに過ぎません。その他の事は卷末に「産婆諸規定」を設けて置きましたからそれを御参照下さる。

□ 身體的方面

産婆は職務の性質上、晝夜の別なく業務を執つて、時としては幾日も幾日も睡眠不足を重ねなければならぬ事もありますし、如何に嚴寒酷暑と雖も長時間の勤務に堪へ忍ばねばならぬのですから、その精神と身體を勞することが尠くないのです。それで産婆たらんとする人は餘程丈夫でないと、その勞力に堪へることが出来ません。如何に優秀な技倆を有ち、優れた頭腦を有つて居る方でも身體が丈夫でないと務まりません。先づ身體の健康と云ふことは第一の必要條件です。

ハ 精神的方面

産婆は相當の學力を持ち、常識を備へ、産婆の技倆に熟達してゐなければなりません。産婆には相當の學力がなければなりません。例へば異常を早く發見するにも、或は異常を認めて適當の處置をするにも、相當な學力があり又それを活用する常識がな

いと駄目です。實地に當つて教科書に書いてない事件が突破した曉には書いてある事をうまく應用して、所謂臨機應變の働きをしなければならぬのです。又如何に學問があつても技倆が達者でないと、救ひ得べき命をも助けられないことになります。同情に富むことも亦必要です。幸ひ皆様は婦人として、この最大の美德を御持合せの方々ですから最適と思ひます。實際産婦の苦しみを軽くするのは産婆の務の一つであります。それは同情心があつてはじめて出来るのです。親切や慈愛の行爲は、同情心の發露であります。

第三節 産婆になる人の心得

業務に忠實にして責任を重んずることが第一に大切です。カントは人の人たる所以は責任を有するにありと云ひました。眞面目に自己の業務に盡して、完全に責任を果すと云ふことは、人の生命を掌る職にある産婆の最も心掛くべきことです。

常に學術及び技倆の進歩を計ることが必要です。産婆の仕事は高尚、深遠なる學理

を應用して、細心緻密な技術を行ふべきものですから、學んだ事を完全に應用出来るように、又進んで日新の智識を求め、同時に技術の熟練を期するよう心掛ねばなりません。

死産兒或は産兒死亡の率は文明國では日本が一番高いと云はれて居ります。それには他に色々な原因もあるでしょうが、産婆術がもつと進むべき餘地のある事を物語つて居ります。本年二月には産婆法案が議會に上程されました。これが法として制定されると、高等女學校を出てその上専門の學科を二三年修業せねば産婆になれない様になるのです。國家社會は、それ程迄に産婆の業務の重要なことを認めて居るのであります。今産婆を志す方は極めて簡単に資格を得る事が出来るのでありますから幸せですが、皆様はその重大性に鑑みて學力に技術に一増の向上を期さなければなりません。大膽にして小心であること、大膽で勇氣に富み、細心で沈着であることは何事をするにも必要です。

親切にして、慈愛深きこと、お産は婦人の一生の大事で、殊に經驗のない人は心配も一通りでなく、また耐へ難い苦痛を忍ばねばなりませんから、如何に氣丈夫の婦人も頼るのは只産婆ばかりです。この精神的にも肉體的にも苦痛の状態にある所の一種の弱者に接するには、何よりも誠を以て親切を盡すと云ふ事が第一です。如何に技術が卓拔であらうとも、あの産婆は不親切であると云ふ評判が立つともう其人の前途は駄目です。一にも親切、二にも親切であり、犠牲的精神を以て、親切に働くと云ふことは産婆としての使命を遂行するに最も大切な事であり又それは成功の秘訣でもあります。

寡慾にして、廉潔なる事。産婆の仕事は直ちに國家社會の運命に關するものであり延いては人類の幸不幸に關するものであると云ふことを自覺して自己の貴い任務に盡さねばなりません。この自覺のない人は金錢のために目がくらんで墮胎の罪を犯したり、或ひは貧乏人の御産等には極めて冷淡な態度をとる等の過を犯しやすいのです。産婆は博愛慈善を旨とする仁術であるといふことを忘れてはなりません。

正直にして、公平なる事。金錢上の慾は勿論のこと、自分の勞力を少なくする爲め

に不正直をしたり、或は感情上に於て人に甲乙をつけたり、又は産家の貧富貴賤によつて取扱を違へる様なことをしてはいけません。

徳義を重し、秘密を口外せざる事。産婆は人の家庭に入り込むのですから健康、財産其の他色々の事情を知り得るでしょうが、それ等を濫りに他人に洩してはなりません。自分は悪意で云つた積りでなくともどんな迷惑を及ぼさないとも限りませんから。

衛生を重し、殊に清潔に意を用ふる事。産婆の業務は心身を勞する事が甚だしいのですから、常に運動、食物、睡眠、便通等に注意して、業務の暇な時には身體と精神との休養をはかり、殊に月經時の攝生等に注意を拂はねばなりません。身體衣類等を清潔に保つことは、自分の衛生の上から見て大切であるばかりでなく、産婦褥婦初生兒を取扱ふ上に於て頗る重要な事柄であります。

貞淑にして、品性の陶冶を怠らざる事。婦人として其節操を守らねばならぬ事は素よりの事ではありますが、又常に貴重な天職に従事してゐる事を自覺して絶へず品性の向上を計らねばなりません。

以上述べたことは、心得としての要點であります。其の他尊長や先輩を尊敬すること或は謙讓で信義を重んずること又自分の心身を大切に、虚飾を避け、言語、起居動作等をつゝしむ等婦人一般の心得を堅く守らねばならないことはいふまでもないことであります。

第二章 如何にして産婆になるか

第一節 勉學に就ての注意

産婆規則第三條に

「一ヶ年以上産婆ノ學術ヲ修養シタル者ニ非サレバ産婆試験ヲ受クルコトヲ得ス」とあります。即ち産婆になるには少くとも一ヶ年は勉強しなくてはならない事になつて居ります。然し一ヶ年間勉強したら誰でも資格を得らるゝと云ふのでなく、一ヶ年後には試験と云ふ難關が控えてゐるのであります。

受験勉強は一體に緊張するものでありますが、特に産婆試験は六ヶ月とか一年程度の短期講習を受けて直ちに試験に應ずるのですから、實は無理であるに違ひありません。内務大臣指定の學校へ二年學べば受験苦と云ふものを知らずに済むのですが、種々の都合でそれが出来ない人多く人は比較的短期の準備で受験するのであります。だからたとへ講習所や學校に一年位學んでも、それは可成り速成であつて無理があり従つて受験しても仲々合格率が少ないのであります。少數の恵まれた人は直ちに合格出来るが、多數の人は幾度も幾度も應試しなければなりません。だからその長い受験生活には色々な涙ぐましい屈辱に逢ふこともありませうし、身を切られる様な思ひをする事もありませう。その上學説の理解記憶の上にも云ふに云はれぬ苦心を重ねるものでありますから、遂にいやになつて途中で志望をなげうつ人も出て參ります。しかしこれは凡ての受験生が甘んじて受けつゝある苦痛であります。一度志を立て、中途で挫折する様では、一生涯の中幾度失敗を繰り返すかも計り知れません。だから初志は飽くまで貫徹する様に堅い覺悟を持たねばなりません。この堅い決心がなくして

は決して産婆合格の榮冠は得られないのです。如何なる事業でも、精神一到何事かならざらんの意氣を以て進んだならば、きつと酬ひらるゝものですが、しかし常にその反面には身體の保健に注意を拂つて置かねばなりません。如何に試験には好成绩で合格する事が出来ましても、身體の方が衰弱してしまつたのでは何にもなりません。折角大學まで卒業した人が、卒業すると間もなく體を悪くして、一生ブラ／＼と養生で暮さねばならぬとか、或は又卒業の喜びも束の間で倒れてしまふとか云ふ事はよく聞く話です。之は長い間の無理が表れて病魔のために犯されたのです。産婆の試験準備は比較的短い期間ですけれど、それでも年若い皆様の體は無理をすると、病魔に犯され易いものであります。折角合格はしても病身になつたのでは何にもなりません。まして無理をしたために準備の途中で倒れたのでは尙更らつまりません。精神的に勝れた人は、よく自分の身體を無理矢理に使ふものですが、斯る無理をしないように常に保健に就いて細心の注意を拂つて、倦まず撓まず勉學して、一日も速かに合格の榮譽を手にはせねばなりません。

第二節 勉學の方法

さて一年後の受験をひかえて、如何にして進むべきかと云ふ事を考へて見ますと、そこには二つの方法を見出す事が出来ます。即ち一つは學校で學ぶこと、一つは獨學です。

イ 學校で學ぶ方法

内務大臣の指定の無い、普通の産婆學校は全國に數百を數へて居ります。これ等の學校は極めて修業年限が短いのですが、卒業すると産婆試験を受ける資格が得らるゝのです。即ち受験準備の學校であります。受験生の多くはこの種の學校を出たのです。自分の家より通學出来る人はこれに越した事は御座いませんけれど、そうでない場合は、病院或ひは産婆さんに見習として雇つて頂くと大抵通學を許して戴けますから、學費は自分で働きながら勉強出来る譯です。でも働きながら勉強するのですから、精神的、身體的に二重の負擔となり凡ゆる點に苦痛は増すわけです。然し皆様は最後の榮冠を目ざしてあらゆる苦難を征服して進まねばなりません。も一度云ひますが先づ健

康です。

産婆さんの見習をして免狀を取つた場合は一年或ひは二年間義務として働く習慣になつて居ります。

左に學校の例を掲げましょう。

入學案内

- 一、早ク成績ヨク産婆ニナリタイ方ハ、本校ノ普通科へ入學ナサイ。
 - 二、受験ノ爲メニ復習シタイ方ハ、短期講習會へ入會ナサイ。
 - 三、實習ヲシタイ方ハ本科ノ臨産實科へ入會ナサイ。
 - 四、入會シタイ方ハ、本校カラ上ゲル(願書用紙)へ必ず自分デ記入シ、午前部又ハ午後部等ノ區別ヲ明記シテ申出ナサイ。
- 但シ願書ヲ郵送スル方ハ返信用ノ郵券一錢五厘ヲ同封シテ下サイ。

産婆學科	普通科	本科	短期講習科
期 間	六ヶ月	二ヶ年	二ヶ月
新學期	四月四日	十月二日	八月九日
時 間	午前部八時—十時	午後部六時—八時	午後部六時—八時
入學金	一圓	一圓	一圓
授業料	四圓	四圓	四圓

普通科ハ實習ノアル月ダケ實習料一圓、臨産實習科實習料ハ三圓

右は東京市神田區三崎町三丁目の東京助産女學校のもので、次に全國に互つて調べた、著名な講習所或は學校の名稱所在地を掲げて置きますから、學校で學ぼうと思はれる方は二錢切手を封入して規則書を請求なさればすぐ送つて參ります。

學校及所在地 (主なるもの)

北海道

札幌産婆教習所

札幌市立札幌病院内

岩手縣

岩手産婆看護婦學校

盛岡市仁王

盛岡産婆看護婦學校

盛岡市仙北町

一關産婆看護婦學校

西盤井郡一關町

宮城縣

仙臺市醫師會看護婦産婆私立養成所

仙臺市東一番町

福島縣

安積産婆看護婦學校

郡山市

産婆看護婦學校

福島市大町

會津産婆學校

若松市北小路町

白河産婆看護婦學校

西白川郡白川町

産婆になるには

一六

産科婦看護婦學校
平産婆看護婦學校
相馬産婆看護婦學校

石城郡平町
石城郡平町
相馬郡中村町

茨城縣

茨城縣産婆看護婦學校
茨城産婆看護婦學校
磯濱産婆看護婦學校

水戸市上市泉町
水戸市上市南町
東茨城郡磯濱町

栃木縣

宇都宮病院附屬産婆看護婦學校

宇都宮市

群馬縣

桐生産婆看護婦學校
前橋産婆看護婦學校
前橋市看護婦會附屬産婆看護婦學校

桐生市
前橋市堀川町
前橋市相生町

埼玉縣

産婆看護婦學校
浦和産婆看護婦學校
粕壁産婆看護婦學校
熊谷産婆看護婦學校
深谷産婆看護婦學校

北足立郡大宮町
浦和町
南埼玉郡粕壁町
大里郡熊谷町
大里郡深谷町

東京府

東京産婆看護婦學校

下谷區龍泉寺町

第二章 如何にして産婆になるか

一七

東京助産女學校

水原産婆學校

東京産婆學校

東京産婆看護婦學校

天本産婆學校

東洋産婆看護婦學校

神田區三崎町

神田區表猿樂町

日本橋區矢ノ倉町

芝區田村町

下谷區仲御徒町

下谷區西町

新潟縣

新發田産婆學校

長岡産婆學校

柏崎産婆學校

北蒲原郡新發田町

長岡市坂出町

刈羽郡柏崎町

富山縣

堀井助産婦學校

高岡市片原横町

福井縣

福井産婆養成所

福井縣廳内

山梨縣

山梨縣衛生會看護婦産婆養成所

甲府市大切町

山梨縣病院看護婦産婆養成所

甲府市端町

岐阜縣

小坂病院産婆看護婦學校

岐阜市秋津町

岐阜縣産婆看護婦養成所

岐阜市司町

静岡県

- 静岡産婆學校
- 秋山産婆學校
- 駿陽産婆學校
- 磐田郡醫師會産婆看護婦學校
- 駿豆産婆學校
- 沼津産婆學校
- 濱松産婆學校
- 白松産婆學校
- 三島産婆學校
- 中西産婆學校

愛知縣

- 静岡市一番町
- 静岡市傳馬町
- 静岡市鷹匠町
- 磐田郡中泉町
- 沼津市城内
- 沼津市上香貫
- 濱松市
- 小笠郡堀ノ内町
- 田方野三島町
- 名古屋市中區本重町

- ゐのはな看護助産婦學校
- 風野産院附屬助産婦養成所
- 半田産婆看護婦教習所

三重縣

- 温故堂産科學校
- 内務省指定産婆學校
- 尾鷲産婆養成所

- 名古屋市東區東主税町
- 名古屋市中區御器所町
- 知多郡半田町

- 津市丸の内本町
- 阿山郡上野町
- 北牟婁郡尾鷲町

京都市

- 京都産婆學校
- 富田醫院附屬産婆學校
- 京都市醫師附屬産婆看護婦學校

- 京都市清和院町
- 京都市新町通三條上ル
- 京都市丸太町通

和合産婆看護婦學校
 平安産婆學校
 大宮産婆學校
 伏見病院附屬産婆看護婦學校
 郡是産婆看護婦學校

京都市下長者通
 京都市東洞院通錦小路
 京都市下京區大宮通
 京都市伏見區村上町
 何鹿郡綾部町

大阪府

河野病院産婆看護婦養成所
 高安病院産婆看護婦養成所
 大阪回生病院産婆養成所
 箕浦産婆育成所
 竹森産婆學校
 土肥病院産婆看護婦養成所

大阪市北久太郎町
 大阪市道修町
 大阪市東梅田町
 大阪市天王寺區上本町九丁目
 大阪市東雲町
 大阪市東梅田町

原田産婆看護婦學校
 堺病院産婆講習所

大阪市南區鹽町一丁目
 堺市戒三番町

兵庫縣

神戸産婆看護婦學校
 古川産婆看護婦夜學校

神戸市下澤通り
 神戸市下山手通

奈良縣

産婆看護婦講習所

奈良市登大路

島根縣

松江市醫師會附屬産婆看護婦學校
 益田病院附屬産婆看護婦講習所

松江市母衣町
 美濃郡益田町

産婆になるには

廣島縣

愛仁看護助産女學校
廣島看護婦産婆學校
吳看護婦産婆學校
尾道市醫師會附屬看護婦産婆養成所

廣島市觀音町
廣島市三川町
吳市神田町
尾道市久保町

高知縣

高知縣衛生會産婆學校

高知市

福岡縣

九州産婆學校
福岡産婆學校
久留米市醫師會看護婦産婆學校
村尾産婆學校

福岡市大乘寺前町
筑紫郡千代田町
久留米市莊島町
大牟田市室坂町

佐賀縣

産婆養成所
産婆養成所
古賀産婆養成所
牛津産婆養成所

佐賀市水ヶ江町
佐賀市松原町
杵島郡中通村
小城郡牛津町

長崎縣

長崎産婆學校
北島産婆夜學校
長崎愛生産婆學校
今村産婆女學校
品川助産學校
佐世保産婆學校

長崎市磨屋町
長崎市本紺屋町
長崎市鍛冶屋町
長崎市大浦下町
長崎市十人町
佐世保市杉浦町

島原産婆看護婦養成所
諫早産婆看護婦養成所

南高来郡島原町
北高来郡諫早町

熊本縣

熊本産婆學校

熊本市

宮崎縣

宮崎産婆看護婦學校

宮崎市上別府

鹿兒島縣

鹿兒島産婆學校

鹿兒島市船津町

鹿兒島産婆講習所

鹿兒島市千石町

□ 獨學の方法

こゝで獨學と云ふのは學校以外の勉強の方法を指します。若し學説だけならば純然たる獨學でやつても行けますけれど、技術の點になると妊婦産婦に自由に實地に當つて見る便宜をもたない人は、どうしても醫師或は産婆に就いて勉強するより外方法がありません。

獨學の勉強は、自分の讀みたいだけ讀んで行く、疲れたら一寸休む、元氣が出たら又清新な氣持で勉強して行けるのですから、全く自由な氣持で、誰の干渉も束縛もなく又無理もなしに、少し頭の働く人ならば却つて面白いのです。而し乍ら、小學校を出た程度の學力では、そう簡單には参りません。やはり色々考へて上手に勉強して行かねばなりません。それには先づ良い参考書に就て勉強すると云ふ事が最も大切ですが如何に優秀な頭腦を持つてゐても、若し参考書が不良なものであつたら、きつと理解するに困難を感じ、記憶するに非常な骨折りをしなくてはなりません。斯る意味から見ますと試験に成功すると否とはその大部分は参考書の良否にかゝつてゐると云つて

も宜しいと思ひます。

凡ての受験者は皆一様に一心不乱に準備されるに違ひない。而して人の頭脳と云ふものは大した差異はないのですから、獨學される方は特にこの點に注意を要します。次に参考書を選定するには如何なる點に注意すべきかを掲げて見ましよう。

- 一 産婆學の方面に於て一流大家の著者であること
- 二 受験用の参考書であること

三 内務大臣の認定した學校の教科書であること

何れの試験でもそうですか、参考書は一種類中心主義をとつたが宜しいと思ひます。餘り澤山の書物をあれもこれも読み散らすのは決して實力を作る方法とは申されません。最もいゝと信じた参考書を幾度も幾度も所謂眼光紙背に徹する迄も読み返すべきであります。

次に有名な参考書を列記致して置きますから、よく研究して其の内から一種を選定して勉學の中心となさる事を希望します。

醫學博士 小林 敏 郎 合著	受験用産婆學	正規編	(定價三圓五十錢)
同 白木 正 博著	受験用産婆學	異常編	(同 三 圓)
同 木下 正 中著	産婆學講義	上卷 正規妊娠編	(同 三 圓 五 十 錢)
同 望月 寛 一著	實驗産婆學	下卷 異常妊娠編	(同 三 圓 五 十 錢)
同 緒方 正 清著	新産婦助學	上卷	(同 三 圓 七 十 錢)
同 白木 正 博著	白木助産婦學	下卷	(同 三 圓 九 十 錢)
同 神 順次 郎著	産婆學		(同 五 圓)
同 安藤 晝 一著	産婆學	下上	(同 三 圓 五 十 錢)
同 望月 寛 一著	袖近世産婆學		(同 三 圓 五 十 錢)
同 ドクトク 佐伯理 一 郎著	普通産婆學	下上	(同 二 圓 二 錢)
同 酒井 春 吉纂著	近世助産婦	下上	(同 三 圓 三 錢)
醫學博士 佐久間 兼 信纂著	産婆教科書		(同 一 圓 二 十 錢)

産婆になるには

三〇

- 第二卷 正規妊娠 (同一 圓)
- 第三卷 正規分娩 (定價一 圓)
- 第四卷 正規産娠 (同一 五十 錢)
- 第五卷 異常妊娠 (同一 圓)
- 第六卷 異常分娩 (同一 一圓五十 錢)
- 第七卷 異常産娠及補足編 (同一 圓)

次に講義録、雜誌、法規等について参考になると思はれるものを掲げて置きます。

産婆學講義録(五ヶ月修業)

東京助産學會發行

月刊雜誌 助産と看護

一冊 三十五 錢

同 白衣の友

同 二十 錢

高田義一郎著 産婆規則講義

定價 五十五 錢

細 貞寛著 助産婦に必要な法規註解

同 一圓二十 錢

産婆學の教科書によつて勉強するに當つて、先生、醫師或ひは他の誰か教へて下さ

る方がある場合は別として、全然獨學でやる人にとつては、参考書は教師であります。教科書を讀んでゆく中にどうしても解らない處があれば参考書を見ねばなりません。が、教科書を解らぬながらも一二回讀んでその後参考書を讀むと、解り易く平易に書いてありますから、自然と教科書の疑問が解けて行きます。そして尙疑問の點があつた場合にはそれに傍線を引いて、どんどん先へ進むことです。若しその中に解らぬ文字などがあつた場合には辭書を引いてよく覺えて置かねばなりません。猶難かしい單語、術語、或は理論などは一々ノートに書き取つて幾度も繰返して見るのです。特に圖解などは自分で書取つて、名稱、位置、構造、役目等を簡單にでも附して見ると云ふことは殊に大切であります。そうして進んで幾回も繰返す中に、教科書全體の意味が解り、疑問の點も漸次解けて來るのです。獨學で一番困るのは、聞く人も教へる人もない時、参考書によつても理解の出來ない場合がよくあることでもあります。然しそんな場合は餘り苦しなしないで、さつさと先へ進んで行くことです。何回も讀み返して見ると、何んだこんなことであつたかと苦もなく解けて來るものであります。

こんな工合ぐあひにして段々進める。そして終つたら又最初からやり直す。不信な點は参考書を見て明かにして行く、それが終るともう一度通讀どつどくするのです。それが出来上つたら今度はノートに寫した個所の記憶きおくに務めることです。それから更に参考書を最初から漏れなく調べ細かい所まで覚え込むのであります。

斯この様にして勉強したならば、獨學と雖とも決して學校へ行つた人に負けるわけはないのであります。

第三節 理想的勉強法

讀書百遍意自べんいひのつがら通ずで、如何に難解な本でも幾回も幾回も繰り返すと、自然に解つて来るものであります。然し幾回も幾回も讀み直すことは勿論勉強の重要な方法ではありませんが、唯讀むではそれを記憶するには非常な時間を要し、又非常な努力を拂はねばなりません。だから私等は最も短い時間で最も確實に記憶する方法を考へねばなりません。さてその最も理想的な勉強法——記憶法とは何んであるかと申しますと、

第一に出来るだけ澤山の感覺に訴へること、第二に眞に理解すること、第三に反復練習と云ふことです。

出来るだけ多くの感覺に訴へるとは、どんなことであるかと申しますと、例へば「骨盤」と云ふことについて申しませう。之を知つてゐる人は別ですが全然初めて學ぶ場合を考へて下さい。「骨盤」と眼で讀んだだけよりも、口に出してコツパンと讀んだ方がよいし、又先生とか他の人が讀む時之を耳にとめた方が尙宜しいし、其上手で書くなら尙更記憶するのに確實となつて來ます。即ち眼を用ひ、口、手、耳を用ひると云ふ工合に、出来るだけ澤山の感覺器を使用すると、多く用ひただけ記憶は正確に且つ深くなつて忘れようとしても忘れられぬ事になるのであります。之に反してたゞ一度耳に聞いただけとか、或は目で見ただけではどうしても記憶が薄いのであります。物覚えが善いとか悪いとか或は記憶が上手とか下手とか云ひますのは、決して其の人の頭に特別の力があるのではなく、その方法が上手か下手かによつて定まることではありません。又人は生れつきによつて、或人は記憶に秀れてゐるが、推理は平凡であるとか、

又或人は反對に推理作用は秀れてゐるか、記憶は普通である等多少違はないではありません。若し記憶力に於て自信のない人があるならば尙更ら以上の様な方法に従つて一つの術語を記憶するに際しても、讀む時にも聴く時にも特に注意を拂ひ、更らに幾度となく書いて見ることであります。

さて前に例とし出しました「骨盤」であります、之を口で讀み或は耳で聞き又は筆をとつて書いて記憶すると申しましたが、實はまだそれだけでは不完全であります何故ならば、それだけの手数だけでは、單に「骨盤」と云ふ文字だけの讀み方書き方を記憶したに止まつてそれが如何なるものであるかを未だ知らないからであります。意味を理解しないと、丸暗記の弊に陥り易く又記憶も淺くなります。だから讀み方書き方の次に其の意味を理解しておかねばなりません。「骨盤」の意味は書物に書いてあります。所が之を讀んだだけでは理解が薄いのであります、人體圖を見まして其の位置を知り、骨盤だけの圖を見て、其の構成や形を知り、それが自分の何處にあるかを覺り、更に如何なる役目をつとむるものであるかを知らねばなりません。之だけの

理解があつて始めて「骨盤」の記憶は正しくなるのであります。而して更に進んで自分でも骨盤の略圖を書いて見るのであります。即ち骨盤の圖を眼で見ればかりでなく手に訴へて描いて見ることは、前にも申しました通り大切な記憶方であり、又此の上完全を望むとすれば骨盤の模型を見るとか、或は實物を見るとかすれば尙更ら宜しいでしょう。その時も眼で見ただけでなく手にとつて眺むれば尙更ら記憶は確かなるでしょう。これだけの手数をつんで置けば骨盤に對する記憶は拭ふても決して消え去るものでない。従つて試験に出ましても其の意義を書くにしても、其の略圖を描くとあつても、少しも困ることはないでしょう。

以上述べましたのは一の實物についての記憶法でありました。然るに書物を讀むと實在するものばかりでなく色々な理論もあります。理論はどうしたらよいかと云ひますと、先づその理論を理解することに努めねばなりません。眞に理解するには、例へば本を讀んでゐるうちに理論の所が少し難解であれば、幾度も讀み返して意味を覺ることをしたり、其處に傍線を引いて再讀の時に重要なしるしとしたり、或はその理論

の主要な事柄をノートに書いたりします。そうして理解が出来たら、自然記憶も出来るわけでありませぬ。受験者のうちにはよく意味も理解せずして、本に書いてある通りに丸暗記する人もありますが、之は思はざるも甚しいもので、之では大切な産婆がつとまるものではありません。

以上少しの例について述べましたが、この方法原理さえ理解出来ましたなら、後は自分で實際に當つていくらも應用が出来るでせう。最後に多くの感覺に訴へ、眞に理解する上に、も一つ進んで幾回も反復練習することも亦大切な事柄であることを記憶して置いて實際の用にたてられんことを希望して置きます。

第三章 試験 験 は

第一節 試験 験 科目

以上述べた方法により、産婆學の基礎が出来ましたならば更に進んで試験に對する

準備をしなければなりません。

試験を受ける者にとつては、受験科目に於て、一體何んなものが出るのであらうか、又どれ位の程度の問題が出るのであらうかと色々の考へを起されるのも當然であります。凡ゆる方面の試験に於て、殊に合格率の少ない試験に於ては非常に廣範圍な試験問題が豫想されますが、産婆試験は範圍が定まつてゐますから、其の點は稍々樂なように思はれます。猶此の試験は競争試験でなく資格試験ですから、たとへ受験者が多くとも、その合格人數を制限するのではなく、合格點數に充ちさえすれば、受験者全部が合格する事も出来るのであります。又反對に志願者全部が全部不合格と成らんとも限りませぬ。それ故に最初から萬全を期して、一度で合格しようとするには、やはり色々な事を研究して置く必要があります。

産婆試験は前にも述べましたように幸ひ試験科目が定めてあります。即ち産婆試験規則、第二條に

學 說

- 第一 正規妊婦分娩及其ノ取扱法
- 第二 正規産褥ノ経過及褥婦生兒ノ看護法
- 第三 異常ノ妊婦分娩及其ノ取扱法
- 第四 妊婦産褥褥婦生兒ノ疾病消毒ノ方法及産婆心得

實地

第一 實地試験若クハ模型試験

右の如く試験科目は五項目になつて居ります。しかし右の中何れの科目が殊に重要であるか、如何なる方法で如何なる問題が最も出そうであるかと云ふことは、自分が受けたいと思ふ府縣の試験問題を集めて見る事が一番よいと思ひます。

第二節 試験問題

各府縣に於ける最近の試験問題を二三列挙して見ましよう。

昭和七年秋期産婆試験問題

東京府

- 一、胎位胎向ニ就イテ。
- 二、娩出力トハ如何。
- 三、母乳榮養ト牛乳榮養トノ優劣ヲ説明セヨ。
- 四、妊婦中胎兒死亡ノ原因ト診断。
- 五、分娩第二期ニ於テ兒頭ノ骨盤入口上ニ固定セザル場合ヲ列舉シ産婆ノ之ニ對スル處置ヲ述ベヨ。
- 六、異常惡露ニ就イテ。

埼玉縣

- 一、婦人生殖器ノ名稱及其ノ作用ヲ簡明ニ記セ。
- 二、正規妊婦ト鬼胎妊婦トノ診断上ノ差異點ヲ記セ。
- 三、分娩時内診ニヨリ診定シ得ル主要事項ヲ記セ。

- 四、強度の妊褥子宮前傾前屈症ノ原因及其ノ妊褥分娩ノ経過ヲ記セ。
- 五、産婦子宮回復不全ノ原因症状處置ヲ記セ。
- 六、分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置ヲ記セ。

神奈川縣

- 一、子癇ノ症状及處置法ヲ記セ。
- 二、(イ) ヘガール氏妊娠徴候ヲ記セ。
(ロ) ビスカツエツクス氏徴候ヲ記セ。
- 三、初生兒臍創傷傳染病發生機轉及ビ豫防法。
- 四、横位ノ診断及ビ分娩ニ及ボス影響。
- 五、前陳痛ト分娩陳痛トヲ説明セヨ。
- 六、正規産褥ニ於ケル母體ニ現レル變化ヲ記セ。

宮城縣

- 一、妊婦ノ視診及解診ニテ知り得ベキ事項ヲ記セ。
- 二、左ノ事項ヲ説明セヨ。
 - イ 外結合線。
 - ロ ヘガール氏ノ妊娠徴候。
 - ハ 第二骨盤端位ノ兒心音聴取部位。
 - ニ 收縮輪。
 - ホ 子宮ノ全開大ヲ知ル徴候。
- 三、左ノ事項ヲ説明セヨ。
 - イ 産褥第五日ノ子宮底ノ位置。
 - ロ 惡露ノ消失時期。
 - ハ 分娩後ノ離床及入浴ノ時期。
 - ニ 初生兒第一週ニ於テ人工營養トシテ牛乳ヲ用フル場合ノ稀釋法ト一回ノ分

量。

- 四、成熟胎兒ノ自然分娩ヲ遂ゲ得ル場合ヲ記セ。
- 五、分娩三期ニ於ケル異常出血ノ原因及處置ヲ記セ。
- 六、母體ノ疾病ニ因リ起ル初生兒ノ疾病ヲ擧ゲ簡單ニ説明セヨ。

京都府

- 一、正規分娩ニ當リ外診ノミニヨリテ胎兒先進部ノ先進程度ヲ判定スベキ種々ナル方法ヲ述ヘヨ。
- 二、分娩ヲ正規ニ遂行シ得ル爲ノ主要ナル條件ヲ問フ。
- 三、母乳ノ人工營養品ニ對スル特點ヲ列擧セヨ。
- 四、初生兒沐浴ノ効果並ニ沐浴時ニ於ケル注意。
- 五、狭窄骨盤ノ診斷ニ就イテ。
- 六、娩出期陳痛微弱ニ對スル處置並ニ注意スベキ事項ヲ記セ。

七、産褥時期所謂吸收熱ヲ發生スベキ原因ヲ述べ且ツ産褥性創傷傳染病ト該疾患ノ

原因上ノ差異ヲ記セ。

八、生活力微弱ナル乳兒ノ主ナル徴候並ニ其ノ看護上必得ベキ點ヲ記セ。

大阪府

- 一、妊婦アリ最終月經不明ナリカ、ル時産婆ハ如何ニシテ産褥時期(何ヶ月)ヲ判定スルカ。
- 二、分娩初期ノ徴候ヲ記セ。
- 三、産褥經過ヲ正規ナラシムル諸注意ヲ記セ。
- 四、初生兒臍部ノ處置。
- 五、子癇ニ就キ左ノ各項ニ答ヘヨ。
 - イ 妊婦ノ如何ナル時期ニ起ルカ。
 - ロ 如何ナル妊婦ニ起ルカ。

産婆になるには

四四

ハ 症 状。
ニ 處 置。

- 六、双胎分娩ニ起リ易キ障害及取扱上特ニ注意スベキ事項ヲ擧ゲヨ。
- 七、腎盂炎ニ就テ記セ。
- 八、初生兒ノ吸乳障碍ノ原因ト其ノ處置。

以上甲組

一、妊婦アリ未ダ妊婦ノ確徴ナシカ、ル時産婆ハ如何ニシテ妊婦ナリト確定スル
カ。

- 二、會陰保護ノ目的、之ヲ行フベキ時期及ビ仰臥位ニ於ケル方法ヲ記セ。
- 三、胎盤娩出ノ時ニ於ケル注意事項ヲ記セ。
- 四、分娩直後生兒ノ取扱法。
- 五、妊婦後半期ニ於ケル胎兒生死ノ鑑別。
- 六、左記ノ異常分娩ハ母兒ニ如何ナル障害ヲ起スカ。

イ 頭蓋位ニ於ケル臍帶脫出。

ロ 頭面位。

- ハ 正常位ニアル胎盤ノ早期剝離。
- 七、褥婦ニ起ル主ナル疾病ヲ擧ゲヨ。
- 八、新生兒ノ糞便(生理的、病的)ニ就テ記セ。

以上乙部

實地試驗問題

長 野 縣

- 一、産科器械。
- 二、異常産(模型ニ依ル)。

岐 阜 縣

- 一、模型ニ骨盤端位、兒頭ノ徑線。

第三章 試 験 は

四五

二、産科Ⅱ鉗子、斷頭鉤、磁頭器、窄頭器、子宮カテーテル、氣管カテーラル、開口器、鈍匙、メトロイリントル、葡萄狀鬼胎。

三重縣

第一回 一、産婆用器具ノ名稱及消毒法。

二、妊婦ノ診断。

第二回 一、臍帶結紮法。

二、妊婦月數ノ診断。

青森縣

一 産科器械ノ名稱。

二 第二後頭位分娩機轉及診断。

三 第一骨盤端位分娩機轉。

第三節 答案の書き方

答案は、過去に於ける勉強の結果を直ちに決定するものでありますから、其の書き方に就いては餘程注意しなければなりません。中には實力さえあればよい。即ち知つてゐるだけ書きさへすればよいと云ふ人もありますが、同じ事書いても、上手に書けば點數がよいし、下手に書けば點數が下るのは當然のことです。ですから出来るだけ好い點をとる様に上手に答案を作らねばなりません。それには、如何なる點に注意すべきか以下少しく述べる事に致します。

イ 問題の題意に相合した答案であること

これは當然のことと説明する迄もなく何人も知つてゐる事柄ですが、實際の答案を見ると題意にしつくり合ふ様に書いてあるのは甚だ少いもので、多くは書かねばならぬ事を落したり、書かぬでもよい事を長々と書いたりしてあります。實際の仕事は云ふまでもありませんが試験も應用です。今迄學んだ總ての知識を集めて、その問題に

相合する答案を書かねばなりません。

それにはやはり平素答案の練習を是非試みる可きであります。始めて試験を受ける人は、一定の時間中に澤山の試験問題を書き上げることには就いては大變困難を感じるものです。知つて居るだけを書けば時間が足らぬし、簡単に書けば點數が心配になるし、又多くの問題の中には充分知つてゐる問題もあるが、中にはどう考へて見ても知らぬ問題がある。斯る時はどうしたらよいか、餘り考へ込むとすぐ時間はたつて益々あはて、來ると云ふ様なことになります。それでは充分な實力を持つて居ながら、遂に失敗に終る事になります。だから答案の練習は必ずやつて置かねばなりません。

□ 簡單明瞭に綺麗に書け

答案は一定の時間内に書くものですから、餘り冗長に書いてゐたのでは時間が足りなくなる。又試験官の方でも、何を書いて居るかわからぬ程冗漫では困るのです。だから不用の言葉はなる可く用ひないようにし内容にあることだけ書いて行くようにしなければなりません。又答案の文字は楷書で綺麗に書くことが必要です。文字は下手

でも行儀よくキチンと書いてあると、見る人をして大變氣持よく感じさせ知らず知らず良い點をつけて貰へる結果になります。反對に書いたり、消したり、楷書があるかと思へば行書があり、草書があり、片假名の處もあれば平假名の處もあり、口語體で書いてあるかと思へば文語體の處もあると云ふ様な、行儀の悪い答案は試験官が讀み難くて「嫌だな」と云ふ感を抱き、受験者に取つて非常に不利益であります。

ハ 順序を考へて要領よく書くこと

答案は能く要領を得る様に上手に書かねばなりません。夫れには先づ問題を熟讀して、其問題の骨子となるべき大切な處から真先に書きはじめ、順序よく配列せねばなりません。

今試みに要領の良き答案の書き方の例を示しますと、

問 正規分娩の経過

答 (一) 分娩の前徴

1 基底下降感Ⅱ(説明を略す)

産婆になるには

- 2 前驅陣痛 (同)
- 3 尿意頻數 (同)

(二) 分娩の開始

- 1 陣痛 (説明略)
- 2 分泌 (同)
- 3 内診すれば (同)

(三) 分娩の進行

- 1 分娩第一期 (同)
- 2 分娩第二期 (同)
- 3 分娩第三期 (同)

問 後産期の出血に就て述べよ。

答 後産期の出血は軟部産道の破裂、弛緩性出血、子宮内翻症等によりて起る。次に其各々に就きて述べべし。

(一) 軟部産道の裂傷

- 1 會陰破裂 (説明略)
- 2 腔の裂傷 (同)
- 3 頸管破裂 (同)

イ 原因 (同)

ロ 診断 (同)

ハ 處置 (同)

(二) 弛緩性出血 (同)

イ 原因 (同)

ロ 診断 (同)

ハ 處置 (同)

(三) 子宮内翻症

イ 原因 (同)

第三章 試験は

ロ 診 断 (同)

ハ 處 置 (同)

以上のように書く可き材料の順序を定め全體に組織ある様な書き方を致せば宜しいのです。之を始めから終りまで書き流したのでは決して理想的答案とは申されません。

第四章 手續法

第一節 試験期日

産婆試験は、大方の府縣では春秋二回づゝ行はるゝ事になつて居ります。又期日は各府縣により異り、各一ヶ月前に告示されますけれど、たとへ發表されなくとも受験したい府縣の衛生部へ往復はがきで問合せると直ちにわかることです。参考のため昭和八年春期の各府縣に於ける試験期日を掲げて見ましよう。

府 縣 名	願書締切	學說試験	實地試験
東 京	三月三十一日	四月三十日	五月十六日ヨリ
茨 城	三月三十一日	四月九日	四月二十四日
神 奈 川	三月二十五日	四月四日	四月十日ヨリ
山 形	四月十日	五月四日	五月二十五日
群 馬	四月二十日	五月七日	五月二十五日
長 野	三月十日	四月三十日	五月十七日
山 梨	四月二十日	四月三十日	五月五日

此の様に試験の期日は各府縣によつて異なる事、又春秋二回行はれることは受験人にとつて大變便利なことです。この縣で失敗してもすぐ他の縣の試験に應ずることが出来或ひは春の不結果は秋挽回することが出来ることと云ふ様に都合よく出来て居ます。

第二節 試験出願書類の書き方

産婆になるには

五四

産婆試験願に要する書類其他は、各府縣によつて多少違つて居りますから、豫め受験しようと思ふ府縣の衛生課に就て調べた上、必要な準備したら宜い譯です。出願に必要な書類は

- 一、産婆試験願書
- 二、履歴書
- 三、戸籍謄本(又ハ戸籍抄本)
- 四、寫眞

以上に受験手数料一圓也を添へて提出するのですが、次に右の書類の作製に就いて説明致しましょう。

イ 産婆試験願 (用紙美濃半紙)

産婆試験願

原籍 何縣何郡何村何番地
 戸主 何 某 何女

現住所 何縣何市何町何番地

何某方

氏 名

生年月日

右本年春(秋)施行ノ産婆試験相受度候條履歴書、戸籍謄本(抄本)手数料(小爲替金一圓)寫真相添へ此段相願候也

昭和 年 月 日

右

氏 名 印

何縣知事何某殿

産婆になるには

口 履 歴 書 (用紙美濃半紙)

五六

履 歴 書

原籍 何縣何郡何村何番地

戸主 何某 何女

現住所 何縣何郡何(市)何(村)町何番地

何某方

氏 名

生 年 月 日

一、大正 年 月 日何縣何郡何村尋常高等小學校ニ入學年 月同校

高等科卒業ス

一、昭和 年 月 日何縣何郡何町何産婆學校ニ入學シ年 月同校ヲ

卒業ス

一、昭和 年 月ヨリ同年 月マデ何縣何郡何町醫師(或産婆)何某氏

ニ就キ産婆學(學說及實地)ヲ修業ス

一、昭和 年 月ヨリ同 年 月マデ何縣何郡何町醫師(或産婆)何某

氏ニ就キ産婆學(實地)ヲ修業ス

一、賞罰 前記何々學校卒業ニ際シ優等賞ヲ受ク

右之通相違無之候也

昭和 年 月 日

右

氏 名 印

前記履歴書ノ通り相違無キコトヲ證ス

昭和 年 月 日

何縣何郡何町何番地

醫 師 氏 名 印

昭和 年 月 日

何縣何郡何町何番地

産 婆 氏 名 印

八戸籍謄本(抄本)

戸籍謄本又は抄本となつて居りますから抄本が手軽でいゝでしょう。これは原籍地の役場へ次の様な手紙に郵便切手十七錢を封入して依頼すると、直ちに送つて來ます父兄に依頼するよりは役場へ直接に頼む方が早くもあるし又手数もはぶけますから、いゝでしょう。

拜啓御多忙中恐縮に存じ候へども受験の爲必要につき私の戸籍抄本一通御送り被下度郵便切手十七錢相添へ此段御願申上候

月 日

原籍 何縣何郡何町何番地

何 某 長 女

現住所 何市郡何何番地 何某方

氏 名

何村役場戸籍係御中

二寫眞

寫眞は手札形半身撮影のものの裏面に氏名生年月日を記して願書に添へて提出するのです。六ヶ月以内に撮影のものとなつて居ります。

第三節 願書提出の方法

以上の試験願書其他の用意が整つたら、之を一纏めにして受験料を添へ、府縣の衛生課へ持参するのです。若し郵便で願書を出される人は受験料一圓を郵便爲替にして願書と共に、書留郵便で送らねばなりません。

試験願を提出すると、受験番號と受験者心得の書いた試験通知状を送つて來ます。これはよく熟讀して遵奉しなければなりません。又これは大切に保存して置いて當日は亡れないよう持参するのです。

次に御参考迄に群馬縣の試験通知状を掲げて置きます。

試験通知状

受験番号第 號

- 一、此通知状ハ試験當日必ス携帯シ受験中ハ机上ニ置キ試験委員ノ照査ニ資スヘシ
- 二、此状ヲ携帯セサルトキハ何等ノ事由アルモ試験場ニ入ルヲ許サス

受験者心得

- 一、受験者ハ試験開始時三十分前試験場ニ到着シ係員ノ指圖ニ從ヒ着席スヘシ
- 二、受験人ハ試験係員ノ指揮ニ從フヘシ
- 三、試験場ニハ筆墨類ノ外書籍、書類ヲ携帯スヘカラス
- 四、試験場ニ着席シタル上ハ互ニ談話シ又ハ許可ナクシテ席ヲ離ルヘカラス
- 五、用事アラハ舉手シ試験係員ニ問フヘシ
- 六、答案ハ一題一時間トス但シ同時ニ數題ヲ課シタルトキハ其ノ時間ヲ共通トス
- 七、答案ニス必ズ自己ノ番號及問題番號ヲ記入シ姓名ヲ記スヘカラス

- 八、答案ハ問題毎ニ別紙ヲ用フヘシ
 - 九、答案用紙ハ反古紙ト雖試験係員ニ差出スヘシ
 - 十、試験中不都合ト認ムル所爲アル者ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ
- 試験施行日時場所左ノ通り
- 一、日時 昭和八年五月七日午前九時
 - 一、場所 前橋高等女學校 前橋市紅雲町

昭和八年四月廿六日

群馬縣産婆試験委員長

第五章 受け方に就ての注意

第一節 試験前日及當日の注意

是非一度で合格せねばならぬと、一生懸命勉強しながら、試験に際して實力を充分

に發揮する事が出来なくて残念に思ふ人が度々ありますので、産婆試験に初めて直面せらるゝ人々の爲めに必要と思はれる事を二三附け加へて置きます。

一、明日が試験と云ふ時になつたら、ノートに書き抜いた要項を見てその大綱をも一度頭に描いて記憶を新にする位に止め、餘り書物など見ない様にして脳を休めて置かねばなりません。試験の前夜徹夜して勉強する如きは、脳を疲労させ、神経を興奮させる丈で、試験場に入つて筆を取つて見ると、却つて平素記憶して居た事まで書けない様になるものです。だから試験の前夜は早く寝て充分熟睡し、當日は早く起床して、爽かな氣持で試験場に向ふよう心掛ねばなりません。又當日は成るだけ食事をひかえ目にして、湯水等も多く飲まないがいでせう。試験場へ入る前排尿することも大切です。

二、試験場には少なくとも試験開始前三十分位前には到着して、自分の番號席を見つけて置かねばなりません。試験場に入つたら、靜肅にして氣を落ち付けることに努めることです。興奮すると

色々なことで思慮の足らないことになつて後で残念がらねばなりません。自分の席に着いたら、直に紙や筆を用意して、かねて下附された受験番號札を机の上に置いて試験監督からの注意を良く聞きます。

試験用紙を渡されると、一番初めに受験番號を書き入れることです。これは答案を書く前には是非忘れぬやうに書き入れて置かねばなりません。

試験問題が渡されたら、靜に良く熟讀することでありませう。而して是れが一番記憶して居り答へが樂だと思ふものから順に書いて仕舞つて、最後に時間のあらん限り、六ヶ敷問題について充分考へる餘裕を残す様にするがよいのです。初めから六ヶ敷問題に頭腦を悩ますと、遂には時間が足らなくなり、能く記憶して居る問題までも、充分に書けなくなることが多いものです。

答案の書き方は、一、問題の意味を取り違へないように、題意に相合した答案を作ること、二、簡単に明瞭に文字は綺麗に書くこと、三、順序をよく考へて要領よく書ること等既に前に説明致しました。

若し問題を見た時少しも記憶して居ないと思ふものがあつても、能く氣を落付けて教科書の何の邊にあつたかを考へ、常識をたどつて見る間には、段々と忘れてゐた事が思ひ出され、どうにか書けるものです。時間もまだ來ないのに直ぐ飛び出して行く人がありますが、之は非常に悪いことです。一年の効果があるか、失敗するか僅かの時間で定まる大切な時ですから、決してそんな輕卒なことをしてはなりません。最後まで深重にやるべきです。

愈々答案が出来上つたら二度も三度も熟讀して、字に誤りはないか、字が抜けて居りはせぬか、文字の意味が自分の考へと違つては居ないか、又問題に考へがピツタリ合つて居るかどうか、最後に受験番號が落ちては居ないか間違つて居はせぬか等確めて見ねばなりません。そして問題の順序に重ねて番號を付け試験官から提出を要求されたら全部を紙のこよりでまとめて出すのです。

答案を提出したら、誰も彼もほつとするものです。そして色々友達同志話合つたりするので、一度出してしまつてからは試験の事は一切考へない方がいゝです。友達

と答案の書方が違つてゐると云ふので悲觀したり又落膽したりする人がありますが、もう答案を出した以上は及落の運命は答案が負つてゐるのですから、成功も失敗も神に任せて實地試験の準備にかゝらねばなりません。

第二節 實地試験の心得

學說試験に合格するとその通知が参りますから、今度は實地試験に應ずる譯です。その際の注意事項を二三申述べて置きます。

實地試験には試験室に二三人づゝ呼び入れて行はるゝのですが、室に入る時は周囲の人に氣兼ねして、ビク／＼しない様に良く心を落付けて戸の開閉にも注意し、温順に試験官に一禮して命せらるゝまゝに座につかねばなりません。又試験官に對しては言葉を丁寧にして不遜の態度があつてはなりません。

實地試験は日常多く用ひらるゝ産婆機械或は藥品等に就て、其の名稱や使用法を問はれたり、又妊婦或は模型に就て診察を命せられその結果を質問されるものですから

よく氣を鎮めて誤りのないように答へねばなりません。模型による場合も實際産婦に接する時の態度を忘れない様心掛くべきであります。

總て口答試験は一旦口に出して云つた事は取返しがつかぬものでありますから、一言半句誤らぬよう注意すべきです。言葉は慎み深くハッキリと、試験官に不快な感を抱かせぬよう注意しなければなりません。

第六章 無試験にて資格を得る法

以上は専ら産婆試験を受けて資格を得る法を述べましたが、此の章に於ては無試験にて資格を得る方法を述べましょう。即ち内務大臣の指定した學校或は養成所を卒業するとその資格が得られるのですが、この種の學校は修業年限がなく、大體二年と云ふ事になつて居ります、それで資格試験の受験を好まぬ人、或は二年間通學される境遇にある人、又はみつちり研究しようと思はれる方はこれ等の學校に入學されたがいゝと思ひます。

内務大臣指定の學校或は養成所には、日本赤十字社産院のように手當の支給を受けながら勉強して資格を得らるゝ所もあります。それには試験によつて入學を許可されるのですが、極めて恵まれた條件の學校ですから、志願者數も非常に多く大抵採用人員の十幾倍に達するそうです。

入學資格は、各學校或は養成所により多少異なる點はありますが、凡そ次のような資格を有する者と云ふ事になつて居ります。

- 一 品行方正ナルコト
- 二 身體健全ナルコト
- 三 年齢滿十八年以上三十年未滿ナルコト
- 四 配偶者ナク且家中ニ係累ナキコト
- 五 高等小學校卒業者若ハ高等女學校二年以上ノ課程ヲ修業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ナルコト

試験科目は

産婆になるには

六八

一 身體検査

二 學科試験

イ 讀書

ロ 作文

ハ 書取

ニ 算術

三 試問

以上

前にも述べましたように産婆は肉體的又精神的勞力を必要とする仕事ですから、試験で最も嚴密に行はれるのは身體検査です。次に親切である事又總ての動作が沈着で機敏である事等です。學科試験は高等科卒業程度ですけれど、十人に一人位の割合ですから、これも餘程慎重に掛らねばなりません。

次に御参考迄に日本赤十字病院の産婆養成規則を掲げましょう。

日本赤十字社産婆生徒養成に關する規則の摘要

- 一 生徒には産婆に關する學術赤十字事業の要領を教授す
- 二 生徒は卒業後二箇年間指定の場所に服務し尙爾後六ヶ年間何時にても召集に應ず

るの義務を負ふものとす但し服務中及召集中は一定の俸給又は手當を給與す

- 三 生徒は所要に従ひ本部又は支部に於て之を採用し其の養成は日本赤十字社各病院又は産院附設の産婆養成所に於て之を行ふ

- 四 生徒は一般志願者より募集す但し志願者の年齢は滿十八年以上三十年未滿にして身體強健、品行方正、配偶者なく且家中に係異なき者

- 五 左の各項に當る者は生徒たる事を得ず

- 一 家資分散又は破産の宣告を受け復権を得ざる者及身代限りの處分を受け辨償の義務を終へざる者

- 二 禁錮以上の刑に處せられたる者

- 六 生徒志願者は願書(書式第一號)に履歷書及戶籍謄本を添へ募集を行ふ本部又は支部に届出づへし

生徒に採用せられたるときは身元確實なる者二名(内一名は公民權を有する者を保證人となし誓約書(書式第二號)市、區、町村長の身元證明書(前項の一二、に

産婆になるには

七〇

該當せざる者なること(を差出すへし)保證人の内一名は其の募集を行ふ本部支部所在地又は其の附近に在住する者に限る

七 生徒は試験の上採用す其の試験科目は左の如し

第一 身體検査

第二 學科試験

- 一 讀書 漢字交り文 二 作文 往復書簡文
- 三 書取 普通の文書 四 算術 四則雜題

第三 試問

學科試験は高等小學校修業の程度に於て行ふ

八 生徒志願者身體検査に合格したるときは學科試験及試問の上及第者を定め其の成績の順序に依り所要の人員を採用す

九 生徒の養成期間は二ケ年とし其の入學期を四月一日とす但し場合に依り之を變更することあるへし

十 生徒所定の課程を卒業したるときは卒業證書を授與す

十一 生徒にして左の各號の一に該る者は退學を命す

- 一 傷痍疾病の爲卒業の目途なき者
- 二 品行不正又は怠惰にして改悛の目途なき者
- 三 學業の成績不良にして卒業の目途なき者

十二 品行不正又は怠惰の爲退學を命せられたる者、請願に依り退學を許したる者及第二項の義務を果さざる者は養成中の學費を返還せしむ

十三 生徒及保證人の轉籍轉任氏名變更其の他身上異動又は保證人の變更等は保證人より速に届出つるものとす

十四 生徒父母の死亡又は病氣危篤其の他止むを得ざる事故に依り歸郷を願出たるときは許可することあるへし

十五 生徒には在學中手當及現食を給し寄宿舎に收容す

十六 生徒には在學中所要の被服を貸與又は給與す

第六章 無試験にて資格を得る法

七一

産婆になるには

七二

十七 生徒傷痍を受け疾病に罹りたるときは社費を以て治療す

十八 生徒實習に起因したる傷痍疾病の爲廢疾不具と爲り又は死亡したるときは手當を給與す

十九 前記社費その外自費を以て養生を受けんとする者有る時は之を許可することあべし

二十 自費生は第二項の義務を負はず

書式第一號

産婆生徒採用願

私儀

日本赤十字社産婆生徒志願ニ付御採用相成度別紙履歷書戸籍謄本相添へ此段相願候也

年 月 日

本籍 ……………

住所 ……………

本人 氏 名印

戸主(親權者)氏 名印

生 年 月 日

日本赤十字社長(某支部長)爵氏名殿

注意 自費志願者にありては産婆生徒自費採用と改む

書式第二號

參錢收
入印紙

誓 約 書

私儀

産婆になるには

七四

産婆生徒ニ御採用相成候上ハ諸規則堅ク相守リ決シテ違背致間敷「卒業ノ上ハ滿二ケ年間御指定ノ場所ニ服務シ尙爾後滿六ケ年間ハ何時ナリトモ召集ニ應シ服務スヘキコトヲ誓約致」候也

年 月 日

本籍
住所

氏

名 印

生 年 月 日

右産婆生徒ニ御採用相成候ニ付テハ修業中ハ勿論卒業ノ後ト雖諸規則堅ク爲相守貴社産婆養成規則ニ依リ「修業中ノ經費還返ヲ命セラレ候節ハ保證人連帶責任ヲ以テ辨償可仕」尙本人身上ノ儀ハ何事ニ限ラス保證人ニ於テ引受可申候也

年 月 日

本籍
住所

保證人 氏

名 印

生 年 月 日

本籍
住所

保證人 氏

名 印

生 年 月 日

日本赤十字社長(某支部長) 爵氏名殿

○注意 自費志願者にありては「内の文字を除く」

印紙には本人及各保證人捺印すること

履歴書記載例 (記載例ノ外ニ履歴書ニ關スル事項ハ委ク記載スヘシ)

履 歴 書

- 一、何年何月某學校ニ入學何月何日何々卒業
- 一、何年何月某學校ニ入學某ニ就テ裁縫(何々)修業
- 一、何年何月ヨリ何年何月マデ某學校ニ(某校某ニ就テ)何々語學ヲ研究ス
- 一、何年何月何日何々ヲ命セラレ月(日)給何圓
- 一、何年何月何日何々ニ付某官廳ヨリ金何圓(褒狀)下賜
- 一、何年何月何日何々ノ廉ニ依リ月俸何分ノ一減俸(譴責ヲ受ク)
- 一、修業年間家事ニ係異ナシ
- 一、家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ (受ケタルコトアルモ復權ヲ得タリ)

- 一、身代限り處分ヲ受ケタルコトナシ (受ケタルコトアルモ辨償ノ義務ヲ終レリ)
 - 一、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ
- 右ノ通相違無之候也

年 月 日

何府(縣)華(士)族(平民)

戸主(某何女)

氏

名 印

生 年 月 日

(身元證明願書例)

證 明 願

本籍 何府(縣)何市(郡)何町(村)何番地

産婆になるには

七八

戸主(又ハ戸主何某何々)

何 某
年 月 日生

一、家資分産又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ(受ケタルコトアルモ復権ヲ得タリ)

一、身代限りノ處分ヲ受ケタルコトナシ(受ケタルコトアレドモ辨償ノ義務ヲ終レリ)

一、禁錮以上ノ刑處セラレタルコトナシ

右證明相成度候

年 月 日

右

何 某 印

市(區)町(村)長何某殿

注 意

一、募集ハ毎年一月上旬願書、履歴書、戸籍謄本ヲ添へ東京市芝區芝公園五號地日本赤十字社ニ提出ノコト

二、社長名 公爵 徳川家達 (昭和八年現在)

三、年齢四月一日迄滿十八歳以上三十歳未滿ノモノ

四、願書及附屬書類ハ規則ニ示セル書式ノ通りトス氏名ノ文字ハ戸籍謄本ノ通り記入スルコト

五、試験場及試験月日、澁谷區宮代町一番地日本赤十字社産院ニ於テ毎年三月上旬試験ヲ行フ(試験日ハ願書受付ノ上通知ス)

次に内務大臣指定の學校名一覽表を掲げましたから御希望でしたら皆様の御希望の學校に二錢切手を封入して規則書を請求して下さい。

内務大臣指定學校名及所在地

東京帝國大學醫科大學産婆養成所

東京市

- 京都帝國大學醫學部附屬醫院看護婦産婆養成所産婆科
- 九州帝國大學醫科大學産婆養成科
- 京都府立醫科大學附屬産婆教習所
- 府立大阪醫科大學附屬産婆養成所
- 千葉縣立千葉病院産婆講習所
- 東北大學醫學部附屬醫院産婆養成所
- 縣立神戸病院産婆講習所
- 大阪市立産院附屬産婆養成所
- 北海道大學醫學部附屬醫院産婆養成所
- 新潟醫科大學附屬醫院産婆養成所
- 岡山醫科大學附屬醫院産婆養成所
- 長崎醫科大學附屬病院助産科
- 千葉醫學專門學校産婆講習所

- 京都市
- 福岡市
- 京都市
- 大阪市
- 千葉市
- 仙臺市
- 神戸市
- 大阪市
- 札幌市
- 新潟市
- 岡山市
- 長崎市
- 千葉市

- 臺灣總督府臺北醫院助産婦講習所
- 名古屋醫科大學産婆養成所
- 市立函館病院産婆講習所
- 熊本醫科大學醫院産婆養成所
- 松山市日本赤十字社愛媛支部病院産婆養成所
- 青森縣立青森病院産婆講習科
- 徳島市醫師會産婆養成所
- 私立緒方助産婦教育所
- 私立岡山縣衛生會産婆看護婦學校
- 濱田病院私立濱田産婆學校
- 私立日本産婆看護婦學校
- 私立新潟産婆學校
- 和泉橋慈善病院産婆養成所

- 臺北市
- 名古屋市
- 函館市
- 熊本市
- 松山市
- 青森市
- 徳島市
- 大阪市東區今橋三丁目
- 岡山市大字内山下
- 東京市神田區駿河臺袋町一三
- 東京市麴町區麴町一ノ一九
- 新潟市西堀前通
- 東京市神田區和泉町一

- 日本赤十字社大阪支部産婆養成所
- 日本赤十字社産院産婆養成所
- 日本赤十字社兵庫支部姫路病院産婆養成所
- 日本赤十字社和歌山支部病院附設産婆養成所
- 日本赤十字社滋賀支部病院附設産婆養成所
- 慶應義塾大學醫學部産婆養成所
- 熊本産婆學校
- 私立酒井助産婦學校
- 日本赤十字社香川支部病院産婆養成所
- 私立三浦産婦人科病院附屬産婆學校
- 小國産婦人科病院産婆養成所
- 私立福岡産婆學校
- 大阪市南區天王寺筆ヶ崎町
- 東京市澁谷區
- 姫路市龍野町
- 和歌山市小松原通四丁目
- 大津市西町
- 東京市四谷區信濃町
- 熊本市本莊町
- 横濱市野毛町三
- 松山市天神前
- 神戸市山手通六
- 姫路市本町六七
- 福岡市千代町

第七章 受 験 記

産婆を志して(一)

東京 S 子

初夏の軟らかい風が静岡を少しばかり南に隔てた私の懐しい片田舎にもやはり今年も變らない香ばしいお茶の匂ひを乗せて、眠る様な陽炎は花から花へ通つて居ります。そうした平和な私の村に、私は毎日お母様のお優しい愛しみの御手に抱かれて安らかな楽しいその日を過して居りました。頂度私が尋常六年生の始めて新學期の忙しさも漸やく落付いた頃だつたと思ひます。お父様は未だ一人っ娘の私にあれやこれやと田舎には珍しい美しい洋服や帽子、靴など整へて下さつて、それに私の皮製のカバンは一等お友達の間を曳きました——そんな風に眼に入れても痛くない程の可愛がり方で私を大變愛して下さいました。別に家がそれ程裕福と云ふ譯でもないのですけれど、村で商家を営んでゐる私の家は私に何不足のないその日を過させて下さいました。

或る日私が何時もの様にはり切れる喜びを抱いて授業を了へた友達と一緒に学校の門を小鳥の様にはしやぎ切つて吐き出されて参りましたのですけれど、今日の私にはもつとそれ以上の喜びが私を待つてゐるのでした。私は急いでお友達に別れを告げて一さんに家へ走つて参りました。其處には私が眞實に待つてゐた私の可愛い弟の赤ちやんが張り切れる元氣のいゝ聲を立て、私の歸へりを待つてゐて呉れました。オギャ／＼と云ふ泣き聲がひつきりなしに、私は直ぐお父様に赦しを希ひ赤ちやんの側に飛んで行つて弟の玉の様な顔をそつとのぞき込みました。そして私はわけもなく可愛くなつて来て今にも頬撫りしてやりたい様な氣がしてそつと頬を愛撫して見ました。

お母様は彼方らを向いて靜かに寢んでおられました。

それから二日経つてその日も學校を引けて飛び込むやうに歸つて来て直ぐさま赤ちやんのお室へ入らうとしたら、

「靜ちやんお母様のお室へ入つてはいけないよ。お母様は少しお痛して居られるから

ね」とお父様に呼止められたので、何んだか急に氣抜けがして不満だつたけれども溢々お父様の居られるお店の方へ行きました。

その翌日でした。噫呼！ 何んと悲しい日なんでせう！

私が授業を終へて頂度皆な一緒に歸らうとする時にお隣の小母様が息せき切つて私を迎へに参りました。

「歸れば分るのよ／＼」と小母様の涙聲に何んだか譯は解らないけれど、私も急に泣き出し度くなつて小母様の先になり、一生懸命馳けました。それから「あ！お母様！」つと云つてお母様の屍に「わつ！」と泣き伏し泣けるだけ泣いたのもそれから間も無いことでした。

私の悲しみと云つたら何んなだつたでせう！ 私は泣けるだけ泣き盡くして最う涙が出なくなつて茫然としてゐたのです。私のたつた一人のお母様。

あゝそれからと云ふものは私は最早や二度と來ないあの幸ある日を思ふと。――再び此の筆持つて手に新しい涙が注ぐのでございます。

——幾年か過ぎて私にもやはり女として身を立てなければならぬ様に成りました
が、一度此の小さな胸に刻まれたあの悲しいお母様のお最後——田舎産婆の不注意の
爲に——私は奮然として立ちました。そして屹度々々！お母様を救つてあげる、世
界中の總てのお母様を——私はこの小さな心に強い——決心を抱いてお優しいお父様
のお側を離れ一路東京へと向つたのです。

それから幾年かの歲月は流れ、此のいつはりの多い社會に、やゝもすれば挫けよう
とする心を勵まし——（そんな時、何時も私の亡きお母様は私を強く勵まして呉れま
す）苦闘を忍ぶこと約二年、十九の春見事に産婆試験に合格し遂ひに報ひられた喜び
の中に今は幾多のお母様の爲に、御子様の爲にと思つて全力を注ぎ、おかしき次第で
すけれど身を犠牲にして奉仕して参りました。

猶今後共一層の注意を拂ひお母様、お子様の爲に亡き私のお母様にお絶り申して此
微力な私をして技術の方面にも猶一層の精進に努め様と思ひます。

産婆を志して(二)

栃木 H 子

「うすら寒い十二月二十一日は栃木縣の實地試験の日でございました。

學説には自信は有りましたが一問不十分な點が有つた爲に失望し乍ら歸京致しまし
た處、十八日には思ひがけなく學説合格の報を手にして大變嬉しうございました。

實地試験は學校での練習不十分で随分心配し乍らも、學説合格に喜びいさんで宇都
宮市へと出掛けました。

七時半頃縣會議事堂に来て見れば、最早澤山の方が来てゐられる。

係の方より「お芽出度う——何か驕らなくてはいけないよ」と言はれてすつかり嬉
しくなりました。随分見知らぬ方より名前を言はれてハツトする。

八時頃に控室に行く、種々の御注意が有つて後に始まる。十人位づつ一組の様に番
號を呼ばれて段々自分の番になるのが近くなる。

怖い様な不安な様な氣持で待つ事二、三時間、十時半頃に愈々呼ばれて行く。

丁度白石さんと二人づゝフアントームを診察する様になつて、リンの合圖と共に

第一號室

に這入る。

壁に内診時間五分間と書いて有り、係の方が此處で内診したら、二號室で見た所を言つて下さいとの事、早速二人で一生懸命内診する。

うっかりして、手指外陰部の消毒はしてあるものとして診察しますといふ事を忘れた。始めからこんな事では駄目だと思ひ落膽しました。でも診断はすぐ付きました五分の後其室を去りて、廊下にて待つ間所見の言ひ方を考へる。暫くの後呼ばれて

第二號室

一禮して受験票を渡し、腰をかけるとすぐに

(試) 何番ですか。

「答」 七六番でございます。

(試) 診断は。

(答) 第二混合臀位の骨盤濁まで進める状態かと診断致しました。

「試」 所見は。

(答) 模型でございませうから外陰部膣子宮腔部等の状態は略させて戴きます。

最初指に觸れましたのは臀部殊に右臀部でございました。それより上に指を進めますと臀間溝を觸れ更に左臀部を觸れました。

模型でございませうからよく分りませんが、臀間溝の中央に肛門が有る事と思ひますそれより一方に向つて進めば尾骶骨尖端を觸れます。これでは觸れません。他方向つて進めば外陰部を觸れます。之は男の赤ちやんと見えまして陰莖を觸れました外陰部の前方には足を觸れました。左足の跟骨を觸れそれより内方に足蹠を觸れて尙進めば足の趾を觸れました。兒背は右前方に臀部横徑は第一斜徑に一致して居ります。尙指頭は臀部の爲に防げられて薦骨腓に達する事を得ず、薦骨の下部のみに觸れて、左右の坐骨棘は容易に觸れました。以上の如き所見でございませう。

「試」 此時の産婆の處置は、

〔答〕 ハイ、骨盤端位分娩は自然分娩は出来ませんが、胎児に危険が多いですから早速に醫師の來診を乞ひます。醫師來診までは、産婦を安静にして腹壓を禁じ、膀胱直腸を空虚にして、胎児心音に注意し乍ら、消毒に必要な準備をなし、又胎児假死挽回術に必要な準備をして、手術の爲にベットを用意します。醫師來診に長時間を要し、胎児臀部迄娩出して残餘の軀幹が現出されず、既に娩出されてゐる胎児身體の皮膚がチアノーゼになり、痙攣性の吸氣運動等危険を起しました時には、止むなく法に隨ひ娩出術を致します。然し此時適當なる陣痛が起つて容易に娩出されると考へた時には其儘経過を見て、肩胛兒頭娩出の際に會陰保護術に注意します。

〔試〕 では完全膝位と不完全足位とどちらが豫後がよいですか。

〔答〕 完全膝位が宜しうございます。

〔試〕 それは違ふでせう。では完全膝位の時には何が先進しますか。

〔答〕 左右兩膝でございます。

〔試〕 では不全足位の時には。

〔答〕 一方のみの足でございます。

〔試〕 では足の次には何が娩出されますか。

〔答〕 下腿膝上腿です。

〔試〕 その次は。

〔答〕 臀部でございます。

〔試〕 では完全膝位の膝の次には。

〔答〕 臀部です。

〔試〕 では足の次に臀部が娩出されるものと膝の次に臀部が娩出されるものとはどちらがよいですか。

〔答〕 私は完全膝位の方が子宮口開大が大きな周圍で、されるところと思ひましたから、完全膝位がよいのです。

〔試〕 不完全膝位の方が臍部が壓迫されないからいいでせう。と教へて下さいました。

〔試〕 では骨盤端位の正規の胎勢は。

産婆になるには

九二

(答) 混合臀位かと思ひます。

〔試〕 では骨盤端位の豫後のよいのから順に言つて下さい。

(答) 混合臀位、純臀位、不全足位、完全膝位、完全足位。

〔試〕 では骨盤端位には胎児に危険が有ると貴女は言ひましたが、どんな危険がありますか。

(答) 胎児下向部と骨盤壁との間に、臍帯に壓迫せられてと詳しく申し上げ始めましたら。

〔試〕 簡単に言つて下さい。
と言はれました。

後續頭現出の遷延、早期破水、早期剝離の外挽出術の時に胎児を損傷する危険があります。

〔試〕 宜しい。

と言はれ受験票を戴き一禮して第三號室の廊下に待つこと暫し、次と言はれて

第三號室

に入り一禮する。

〔試〕 此の器械を言つて下さい。

(答) 臍帯剪刀でございます。

〔試〕 臍帯を剪断する時期はどういふ時が一番よいですか。

(答) はい、初生児が正しく呼吸して、臍帯搏動が停止し母體の子宮の收縮良好で外陰部より異常出血のない時が一番よいと思ひます。

〔試〕 では臍帯結紮の仕方を言つて下さい。

(答) はい、先づ臍輪より一指横徑隔つた所の臍帯膠様質をよくこすりて細くして第一結紮を行ひます。これは外科結びとして、其上を又裏返して他方にもう一度こま結びに致します。それより二指横徑胎盤の方によつた所に第二結紮を行ひますがこれは細くしません。又急ぐ場合にはコツヘル氏鉗子にて挟みます。

〔試〕 では何故こすりますか。

(答) 後で出血しない様に結紮のゆるまぬ様にする爲で有ります。

〔試〕 その次は

(答) 浴湯検温器でございます。

〔試〕 では沐浴の温度は、

(答) 攝氏三十八、九度でございます。

〔試〕 その次は

(答) ハイ、氣管カテーテルでございます。

〔試〕 その次

(答) 金屬製S字狀カテーテルでございます。

〔試〕 用ひ方は

(答) 持つて使ひ方を真似しました。

〔試〕 その次は

(答) 骨盤計でございます。

〔試〕 今何種を示してゐますか。

(答) 二十二種でございます。

〔試〕 二十三是は何處までの距離ですか。

(答) 左右前上棘間でございます。

〔試〕 君それは嘘でせう。

(答) イイエ確にそうです。

〔試〕 ではよく見てごらん。といはれて見れば、二十三糎ではなく十九仙米を示してゐるのです。

(答) 違ひました。一九仙米でございます。私の持つて居ります骨盤計とは一寸違つてゐますので見方が間違ひました。

〔試〕 では十九仙米は何處の距離ですか。

(答) 第五腰椎棘狀突起尖端より恥骨接合上縁までの距離でございます。骨盤計の用ひ方もされました。その次に二、三藥品をきかれました。

産婆になるには

九六

デルマトール、アイロール石炭酸、リゾール硝酸銀等

「試」では〇、五%のクレゾール水二百瓦作るにはどうしますか。

(答) ハイ、クレゾール石鹼液一瓦を水か又お湯を百九十九瓦入れてよく攪拌します。

「試」クレゾール水の用法は。

(答) ハイ三%クレゾール水は器械、一%は手指皮膚、〇、五乃至一%は腔内洗滌に用ひます。

「試」では三%は何倍ですか。

(答) ハイ、約三十三倍でございます。

「試」宜し。

といはれて室を出て、係の方に受験票をお渡し致しました。

遅くとも今日中に発表するとのお話で、時間つぶしに活動を見てみました。見物中には氣ばかりもみまして、丁度白石さんと私とは番號が七十五七十六と續いてゐる爲

に、どちらかキツト落ちる事と思ひ、不安にかられて時間を過しました。

そして五時半頃行きました。がまだとの事、約三十分待つてゐたら、漸くにして發表されました。

パスする様にと神に祈り乍ら次々と文字を待つてゐましたら一番二十番三十番と番號が飛んでゐますので、駄目かしらと思つてゐたら漸くして七五、七六と續いて二人ともパスしてゐました。

思はず二人で抱き合つて泣きました。

これもひとへに、炎熱焼くが如き時にも、一と方ならぬお教導を下さいまし諸先生、賜と厚く心からお禮申上げます。

受験の経験有る方でなければこんな氣持はお分りになりませんでせう、けれど……遠い故郷の兩親にも、何にも代へ難いよいお土産が出来て喜こんで歸郷する事が出来ます。

今後の皆様に少しでもこの記が役立てば幸と思ひまして悪筆をも願みすつとりました。

た。

産婆を志して(三)

東京 S 子

十一月十六日は私の東京府實地試験に當てられた日で御座いました。試験場に指定された商工獎勵館に参り、緊張しきつた心を無理に押静めつゝ、なつかしき同窓の方々と共に待つ事一時間位、やがて係の方の二三の御注意と共に午後一時より試験は開始されました。しばらくの後二〇九番との呼出に手を温め妊婦診察室にと入りました。

妊婦診察室

這入るやすぐにその火鉢で手を温めてと親切におつしやる。その間出身學校等を問はれ、三番目の妊婦の診察をすべく命じられました。壁に貼られたる診察時間五分間と共に記された最終月經の日より現在の妊娠月數等を考へつゝ、全身と乳房と腹部につき診察致しました。

別に異常を認めず、胎兒は第二頭位らしく思はれたのみで、はつきり診断をつけ得る事が出来ません。胸は早鐘をうつ如く高鳴り最早夢中です、時間を見れば未だ少し餘裕がある、思ひ切つて係の方に聴診も終えましたが未だ不明の所がございます。もう一度觸診さしていただきますと云ふと、あゝ、あと一分半位時間がある、宜しいとの御言葉急いで再び觸診と聴診とをし第二頭位なりと診断し、自分の番を椅子にかけ待つてをりました。

〔試〕 次こゝへ、二〇九番ですか、腹部の所見を言ふて。

〔答〕 ハイ、視診から申上ります。腹部は中等度に膨隆し、と順次に答へ、次は觸診を申し上げます。と腹壁子宮羊水胎兒を思ひつゝ、學校ですでに幾回も實地に練習してある事とですから申上る事が出来ました。次に聴診も言ひ終りますと、

〔試〕 診断は？

〔答〕 ハイ？、妊娠第八ヶ月經産婦第二頭位と診断致しました。

〔試〕 分娩豫定日は？

(答) 一月十二日でございます。

「試」 左側の腹部では何も聴えませんでしたか、

(答) はい左では心音もはつきりしませんし、其他何も聴取し得ないやうに存じまじたが。

「試」 それではいかん。前の人によく聴えたと言ひました。もう一度何か聴いていらつしやい。

(答) はい、

(聴えるく) 側腹にて子宮雑音を明かに聴取出来る。あゝとんだ事をしたと思ひつゝ)

(答) 先生すみませんで御座いました。あの下腹部の側方でよく聴取出来ましたのは子宮雑音と存じます。

「試」 そうですか、では子宮雑音と臍帯雑音の區別は？

(答) はい、子宮雑音は妊娠三四ヶ月頃より聴え、臍帯雑音は後半期に稀に聴えます

子宮雑音は妊娠でなくとも子宮筋腫のやうな場合にも聴えますが、臍帯雑音は胎児生活の場合に限ります、子宮雑音は子宮の太き動脈管の血流でありまして、通常下腹部の側方でザアザアと云ふ様に聴えますが、臍帯雑音は臍帯の輕き壓迫により起りまして、胎児心音の最もよく聴える近くに一番よく聴え、ズーズーと云ふやうです、數は子宮雑音は母體脈搏と同數ですが、臍帯雑音は胎児心音と同數で御座います。

「試」 あゝそうですか、それで間違ひありませんか。

(答) はい。

よろしいと寫眞を渡され、丁寧に一禮して第一室を出ました。今の最後に念を押された事が氣になり、自分は夢中でお答をしたが、もしや等と不安な思ひ、内診室にてきつとくしつかりやりませうと心にちかひ、待つてをりました。やがて私の番は参りました。

模 型 内 診 室

3と記された模型の内診を終え、手を洗つて待ちました。後頭位と申上げてよいやら、深在横定位と申上げてよいやら、まよひぬいてをります内早くも……

「試」 次こゝへ、とのお聲

「試」 君のは、どれでした。

(答) ハイ、此方のでございます。

と指さしつゝ思ひきつて、

(答) 診断は第二後頭位の骨盤澗迄進める状態と存じますが、第二後頭位の場合でしたら大顛門は左後方高所に、小顛門は右前方に深在し、矢状縫合は第二斜徑に一致し、薦骨腓に指は達し得られず、左右の坐骨棘は容易に觸れる筈ですが、只今内診によりますと、矢状縫合は斜徑よりむしろ横徑の方にやゝ近づいてをりまして、小顛門は先進致して居りますが、一方の坐骨棘は全く觸れ得ませんでした。

(試) ウーン、そうですね、では腔部はどうでした。
ハツとしまして、

(答) 模型で御座いますから腔や外陰部の状態は略さしていただきます。子宮口は全開大致してをるものと見なします。

こう申上げてしまひましたけれど何となく先生の質問に相當しないお答を致したやうに存じ、内心心配致してをりました。

(試) こんな度は別の事を聞くが、前額位と顔面位の外診所見を言ふて下さい。

(答) ハイ外診では前額位も顔面位を殆ど同じ様で御座いまして、第一胎向の場合は子宮底部の左の偏した方に胎兒臀部を觸れ、母體の左腹部に兒背を觸れ、右側に小部分がありまして子宮底に密接致してをります母體の左側の腸骨窩にて後頭の突隆してをるのを觸れます。又後頭と背兒との間が深い溝の如くに觸れ得るのでございます。兒頭は骨盤入口に嵌入し難い爲分娩初期になりましたも移動してをります心音は右の下腹部に最もよく聴取する事が出来ます。

(試) そうですね。それから口と肛門の區別は、

(答) ハイ、

と教科書通り申し上げました。

(試) 君顔面位の場合自然分娩は遂げられると思ひますか。

(答) 遂げられます。併し分娩時に大なる周圍を以て通過致します故種々危険を生じやう御座いますが、前額位よりはまだよろしくあります。けれども頤部後方に向ひました顔面位は絶対に自然分娩は遂げられません。

(試) ウン／＼、も一つ人工呼吸法で知つてゐるのをやつてごらん下さい。そこへ立つて。

と革製の人形を渡されました。

(答) ハイ、と立ち「シユルツエ氏振搖法を致します、先づ産婆の左右の兒指を兒の左右の液窩に後方……

と申しますと、

(試) 説明はいりません、だまつてやつていらつしやい。

在學中校長先生のを拜見致した私は、其呼吸を思ひ起しつゝやつてをりました。試

驗官は特に足に注意されてをられました「だま諸方氏のが御座います」と之も二三回致し、其他……と申しましたが、一寸何氏か思ひ出せません、其の内に

(試) もうよろしい。

との御言葉、机上には器械藥品等種々御座いましたが、一つも問はれず、ホツとつゝ外へ出ました。

夕暮の空にはいつしか小雨が降り出してをりました。

同窓の友と一諸に今日の模様を語りあひ、互に合格を祈りつゝ家路にと急ぎました神奈川其他の實地にくらべて府では妊婦室に於きましても内診室に於きましても診斷に苦みました故、不安に思ひつゝも幾日かは過ぎ、十一月三十日發表の日、學說より合格者は二十五名であつて、その僅か二十五名の中に自分の番號を見出したる時の喜び、只、茫然として、知らず／＼落つる涙、あゝ苦心はむくいられました。業務のかたはら學說に實地に幾多の苦しみを味ひまして、今こゝに府の合格を得て我が望も叶ひました時、これだけの力をお與へ下さつた校長先生を始め諸先生の限りなき御慈

愛と御熱心なる御教への賜を深く感謝してをります。終りにのぞみまして今在學中の皆様の來るべき検定試験にパス遊ばされん事を祈ると共に御校の益々御榮へあらん事を念願申上げて筆ををきます。

第八章 産婆諸規定集

産婆規則

第一條 産婆タラントスル者ハ二十年以上ノ女子ニシテ左ノ資格ヲ有シ産婆名簿ニ登録ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 産婆試験ニ合格シタルモノ
- 二 内務大臣ノ指定シタル學校又ハ講習所ヲ卒業シタルモノ
- 三 外國ノ學校若ハ講習所ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ産婆免許ヲ得タル者ニシテ内務大臣ノ適當ト認メルタ者

第三條 一箇年以上産婆ノ學術ヲ修業シタル者ニ非サレハ産婆試験ヲ受クル事ヲ得ス

第四條 産婆名簿ハ長官之ヲ管理ス

産婆名簿ニ登録ヲ受ケントスル者ハ産婆試験合格證書、卒業證書又ハ免許證ヲ添へ長官ニ願出ツヘシ

産婆名簿ノ登録事項ニ異動ヲ生シタルトキハ二十日以内ニ名簿ノ訂正ヲ願出ツヘシ
産婆名簿ノ登録事項ハ内務大臣之ヲ定ム

第五條 産婆其ノ住所ヲ移シタル爲メ管轄ヲ異ニスルトキハ直ニ前ノ管轄地方廳ニ産婆名簿取消ノ登録ヲ願出テ後ノ管轄地方廳ニ産婆名簿ノ登録ヲ願出ツヘシ
前項ノ登録換ヲ爲サザル者ハ産婆ノ業務ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 産婆廢業シタルトキハ二十日以内ニ地方長官ニ産婆名簿取消ノ登録ヲ願出ツヘシ

産婆失踪又ハ死亡シタルトキハ戶籍法ニ依ル届出義務者ヨリ二十日以内ニ地方長官ニ産婆名簿取消ノ登録ヲ願出ツヘシ

第七條 産婆ハ妊婦産婦褥婦又ハ胎兒生兒ニ異常アリト認ムルトキハ醫師ノ診療ヲ請

ハシムヘシ自ラ其ノ處置ヲ爲スコトヲ得ス但シ臨時救急ノ手當ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 産婆ハ妊婦産婦褥婦又ハ胎兒生兒ニ對シ外科手術ヲ行ヒ産科器械ヲ用ヒ藥品ヲ投與シ又ハ之カ指示ヲ爲スコトヲ得ス但シ消毒ヲ行ヒ臍帶ヲ切り灌腸ヲ施スノ類ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 産婆ハ名簿ニ登録ヲ受ケサル者ニ妊婦産婦褥婦又ハ胎兒生兒ノ取扱ヲ委任スルコト得ス

第九條ノ二 産婆ハ自ラ檢案セスシテ死亡證書又ハ死胎檢案書ヲ交付スルコト得ス

第十條 産婆ニシテ墮胎ノ罪其ノ他業務ニ關スル罪又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラルヘキ罪犯シタルトキハ地方長官ハ産婆ノ業務禁止シ又ハ一年以内之ヲ停止スルコト得産婆名簿登録前ニ犯シタル罪ニ付テモ亦同シ

第十一條 試験ニ關スル規定ニ違背シタル者アルトキハ其ノ試験ヲ無効トスルコトヲ得若シ己ニ登録受ケタルトキハ其ノ登録ヲ取消スコトヲ得

第十二條 地方長官ハ産婆ノ業務禁止シ又ハ停止シタル後本人ノ行狀ニ依リ其ノ禁止

又ハ停止ヲ解除スルコトヲ得

第十三條 産婆試験ヲ受ケムトスル者又ハ産婆名簿ニ登録ヲ願出ツル者ニシテ試験又ハ登録ノ以前墮胎ノ罪其ノ他業務ニ關スル罪禁錮以上ノ刑ニ處セラルヘキ罪ヲ犯シタル者又ハ試験ニ關スル規程ニ違背シタル者ナルトキハ試験ニハ登録ヲ許可セサルコトヲ得

第十四條 産婆ニシテ三箇年間其ノ業ヲ營マサルトキ又ハ瘋癲白痴不具廢疾ト爲リ其ノ業ヲ營ムニ堪ヘスト認ムルトキハ地方長官ハ産婆名簿ノ登録ヲ取消スコトヲ得

第十五條 産婆名簿ノ登録、登録ノ取消、主ナル登録事項ノ訂正並産婆業ノ禁止又ハ停止及其ノ解除ハ地方長官之ヲ告示スヘシ

第十五條ノ二 産婆試験及産婆名簿ニ關スル費用ハ樺太ニ於ケルモノヲ除クノ外北海道地方費及府縣ノ負擔トス

第十六條 左ニ掲クル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 産婆名簿ニ登録ヲ受ケスシテ産婆ノ業務ヲ爲シタル者

- 二 産婆名簿ノ登録ヲ取消サレタル後産婆ノ業務ヲ爲シタル者
- 三 産婆ノ業ヲ禁止又ハ停止セラレタル後産婆ノ業務ヲ爲シタル者
- 四 第三條ニ關シテ虚偽ノ證明又ハ陳述ヲ爲シタル者
- 五 第七條乃至第九條ノ二ニ違背シタル者
- 第十七條ノ一 第四條第三項第五條第二項及第六條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス
- 第十七條ノ二 本令ニ樺太ニ於ケル通用ニ付テハ内務大臣トアルハ拓務大臣地方長官トアルハ樺太廳長官トス

附 則

第十八條 本令施行以前内務省又ハ地方廳ヨリ産婆ノ免許狀ハ鑑札ヲ受ケ現ニ其ノ業ヲ營ム者ハ本令施行後六ヶ月内ニ地方長官ニ願出テ産婆名簿ニ登録ヲ受クルコトヲ得

第十九條 地方長官ハ産婆ニ乏シキ地ニ限り當分ノ内出願者ノ履歷ニ依リ業務ノ地域及五ヶ年以内ノ期限ヲ定メ産婆ノ業ヲ免許スルコトヲ得

前項ノ免許ヲ受ケタル者ハ産婆ニ準シ本令ヲ適用ス
但シ産婆名簿ニ登録スル限ニ在ラス

第二十條 本令ハ明治三十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

産婆試験規則

第一條 産婆試験願出ノ期日舉行ノ期日及場所ハ地方長官之ヲ告示ス
第二條 試験科目ハ左ノ如シ

學 說

- 第一 正規妊娠分娩及其ノ取扱法
- 第二 正規妊褥ノ經過及褥婦生兒ノ看護法
- 第三 異常ノ妊婦分娩及其ノ取扱法
- 第四 妊婦産婦褥婦生兒ノ疾病消毒ノ方法及産婆心得

實地

第一 實地試験若クハ模擬試験

第三條 學說試験ニ合格シタル者ニ非サレハ實地試験ヲ受ケル事ヲ得ス

第四條 學說試験ニ合格シ實地試験ニ落第シタル者又ハ實地試験ヲ受ケサル者ハ次回以後ノ試験ニ於テ實地試験ノミヲ受クルコトヲ得

第五條 産婆試験ヲ受ケムトスル者ハ産婆學校産婆養成所等ノ卒業證書若クハ修業證書又ハ産婆若クハ醫師二名ノ證明アル修業履歷書ヲ添ヘ地方長官ニ願出ヘシ但シ第四條ニヨリ實地試験ノミヲ受ケムトスル者ハ學科試験合格ノ證明書ヲ添ヘ願出ヘシ地方長官前項ノ願出ヲ許可スルトキハ指令ヲ要セス其ノ願出ヲ受理シ許可セサルトキハ之ヲ却下ス

第六條 削除

第七條 地方長官ハ學科試験及實施試験ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付シ學科試験ニ合格シタル者ニハ證明書交付ス

第八條 地方長官ハ受験人心得其ノ他試験場ノ整理ニ關スル條規ヲ定メ試験場ニ揭示スヘシ

當該長官ハ受験人心得其ノ他前項ノ條規ニ違背シタル者ニ退場ヲ命スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

産婆名簿登録規則

第一條 産婆名簿ニハ左ノ事項ヲ登録スヘシ

- 一 登録番號、登録年月日
- 二 族籍(外國人ナルトキハ其ノ國籍)氏名、年齢、住所
- 三 産婆規則第一條規定ノ資格及資格ヲ取得シタル年月日並ニ同條第一號ノ資格ニ付テハ試験ヲ受ケタル地方廳名
- 四 開業地(住所以外ノ地ニ於テ開業スルモノ又ハ出張所ヲ設クルモノハ之ヲ記載ス)

- 五 業務ニ關スル犯罪、禁錮以上ノ刑ニ該ル犯罪(其ノ年月日事由)
- 六 産婆業ノ禁止、停止、解除(其ノ年月日事由)
- 七 名簿取消シ年月日、事由

第二條 産婆名簿ハ別記様式ニ依リ調製スヘシ

第三條 産婆ノ業ヲ營マントスル者ハ本令第一條第二號第三號第四號ノ事項ヲ明記シテ其ノ住所地ヲ管轄スル地方廳ニ願出テ産婆名簿ニ登録ヲ受クヘシ

第四條 産婆規則第五條第一項ノ場合ニ於テハ前ノ管轄地方廳ハ産婆名簿ノ取消ノ登録ヲ爲シ其ノ登録事項ノ謄本ヲ以テ後ノ管轄地方廳ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

後ノ管轄地方廳ハ前ノ管轄地方廳ノ通知ヲ俟タス本人ノ願出ニ依リ直ニ産婆名簿ニ登録ヲ爲スヘシ必要ト認ムル場合ニ於テハ前ノ管轄地方廳ノ告知ヲ俟チ又ハ之ニ照會ヲ經タル後登録ヲ爲スヘシ

第五條 産婆名簿訂正又ハ取消ノ登録ヲ爲ストキハ其ノ部分ニ朱線ヲ畫シ訂正又ハ取消ノ事由年月日ヲ朱記スヘシ

第六條 産婆名簿ニ登録ヲ受ケタル者ハ名簿ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

左記様式

種別	登録番号	第	號	何
	登録年月日	年	月	日
住	所	縣府	士族	平民
産婆名簿	開業地	資格取得年月日	資格取得年月日	受驗地方廳名
犯罪及行政處分				
何年何月何日生	某			
事				

名簿取消ノ
年月日

産婆ニ關スル諸願書書式

(1) 産婆名簿ニ係ハル願書

産婆名簿登録、登録事項ノ訂正、取消、出張所設置並登録謄本下附ヲ出願セシトスル者ハ左記様式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

第一號(美濃用紙)

産婆名簿登録願

住 所 何縣何郡市區何町村何番地(何誰方)
 開 業 地 何縣何郡市區何町村何番地(何誰方)
 前營業地 無シ又ハ何府縣何郡市區何町村番地(何誰方)

取消出願 何年何月何日何府縣廳何町村役場又ハ何警察署へ願書提出
 年月日
 右産婆名簿ニ登録被成下度別紙資格證書寫及戸籍謄本(抄本)添付此段相願候也

年 月 日

氏

名印

何縣知事 殿

第二號(美濃用紙)

産婆名簿登録事項訂正願

一、異動生シタル事由 何郡市區何町村何番地(何誰方)ヨリ肩番地ニ
 轉居又ハ何々
 一、異動生シタル年月日(何年何月何日)

産婆になるには

一一八

右異動生シタルニ付産婆名簿登録事項訂正被成下度別紙戸籍謄本(抄本)添付此段相願候也

年 月 日

一、登録年月日(年月日)

住 所

一、登録者號(第 號)

族 籍

氏

名 印

年 月 日 生

何縣知事

殿

第三號(美濃用紙)

産婆名簿登録取消願

一、登録年月日(年月日)

住 所

(死亡ノ場合ハ戸籍法ニ依ル届出義務者)

一、登録番號(第 號)

族 籍

氏

名

年 月 日 生

事 由

(何年何月何日死亡、廢業又ハ何府縣何郡市區何町村何番地(轉居))

右産婆名簿登録取消相成度此段相願候也

年 月 日

氏

名 印

縣知事

殿

産婆になるには

第四號 (美濃用紙)

110

産婆出張所設置登録願

- 一、設置ノ場所
- 一、開所ノ年月日
- 一、營業ノ時間

産婆出張所設置致度候間産婆名簿ニ登録被下度此段相願候也

年 月 日

一、登録年月日(年月日)

住所

一、登録番號(第 號)

族籍

氏

年 月 日生

何縣知事

殿

本願書ハ設置場所所轄市區役所町村役場經由ヲ要ス

第五號 (美濃用紙)

産婆名簿登録謄本下付願

産婆名簿登録謄本御下付相成度此段相願候也

年 月 日

住所

族籍

氏

名印

年 月 日生

何縣知事

殿

(本願書ニハ現金又ハ小爲替ニテ五十錢添付ヲ要ス外ニ三錢切手一枚添付ノコト)

(2) 死亡證書、死産検案書様式

死産證書(死胎検案書)

- 一、父ノ氏名(私生子ノ場合ニアリテハ母ノ氏名)
 - 一、父ノ生年月日(私生子ノ場合ニハ之レヲ除ク)
 - 一、母ノ生年月日
 - 一、父ノ職業(私生子ノ場合ニハ母ノ職業)
 - 一、妊娠ノ月數
 - 一、分娩ノ年月日時
 - 一、分娩ノ場所
 - 一、死胎ノ男女ノ別
 - 一、死胎ノ嫡出子、庶子、私生子ノ別
- 右證明候也(右検案候也)

年月日	住所	醫師、産婆	何	某印
-----	----	-------	---	----

産婆業開始、出張所開設ノ件

警察署へ届出願

一、獸醫、産婆、藥種商、製藥者開業シタルトキハ十日以内ニ左ノ事項ヲ具シ免狀又ハ免許鑑札ノ寫若クハ登録謄本ヲ添ヘテ届出ヘシ

- 一、業體
- 二、開業場所
- 三、族籍住所
- 四、氏名
- 五、生年月日

前項届出ノ事項ニ異同ヲ生シタルトキハ又ハ廢業シタルトキハ十日以内ニ死亡シタ

ルトキハ戸籍法ニ依ル届出義務者ニヨリ二十日以内ニ其旨届出ヘシ

本令ニ依ル届出ハ開業場所所轄警察官署ニ之ヲ爲スヘシ

本令ニ違背シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

二、醫師、齒科醫師、獸醫、産婆ニシテ診療所、治療所ノ出張所ヲ設ケタルトキハ其場所及就業ノ時間ヲ記シ(若シ業務代理者ヲ置クトキハ其ノ住所氏名ヲ記シ登録謄本及ハ免狀寫ヲ添付スヘシ)十日内ニ設置場所所轄ノ警察署ニ届出ヘシ異動ヲ生シタルトキハ亦同シ

本令ニ違背シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

産婆ニ關ズル規則 (拔萃)

一、祕密ヲ侵ス罪(刑法第十三章)

刑法第三百三十四條、醫師、藥劑師、藥種商、産婆、辯護士、辯護人、公認人又ハ此等ノ職ニ在リシ者故ナク其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル人ノ祕密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

同第三百三十五條 本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

二、墮胎ノ罪(刑法第二十九章)

刑法第一百十二條、懷妊ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ他ノ方法ヲ以テ墮胎シタルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

同 第二百十三條 婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其ノ承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者ハ二年

以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

同 第二百十四條 醫師、産婆、藥劑師又ハ藥種商婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス固テ婦女ヲ死傷ニ致シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

同 第二百十五條 婦女ノ囑託ヲ受ケス又ハ其ノ承諾ヲ得シテ墮胎セシメタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス前項ノ未遂罪ハ之ニ準ス

同 第二百五十六條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス (終リ)

昭和八年十一月五日印刷
昭和八年十一月十日發行

産婆になるには
定價金四十錢

編者 職業指導研究會

發行者 北村常三
東京市四谷區新宿町一丁目八十八番地

印刷者 百目木智雄
東京市神田區三崎町三ノ二六

不許
複製

發行所

東京市四谷區新宿町一ノ八八
振替口座東京二七一三〇番

三友社

電話四谷二二二一—番

＝書考參驗受及習自＝

再版	二十版	再版	十二版	六十版	七十四版
<p>本多吉雄著</p> <p>受驗用及 代數學問題の解き方</p> <p>送定四四 料價六六 一〇二二頁装</p> <p>のを來百● 手自餘題● 引習解定理● とす解何人● なるとしも● 。稍ある容● 々因に對數● 種代理主の● と數解試問● め學する問● れ練こと題● る習習問千● 際題出三</p>	<p>石塚好忠著</p> <p>受驗用及 漢文の解釋と文法</p> <p>送定四四 料價六六 一〇二二頁装</p> <p>をき點章● 立丁字廣中● ててに方全● 明か明部科● にし釋網書● 。更大意及● 。法通各章● に解に問中● 於句白主● て法文要● に於句白主● に於句白主●</p>	<p>文學士 青木武助著</p> <p>受驗指導 中等日本史</p> <p>送定四四 料價六六 一〇二二頁装</p> <p>理と門● 解學中● 得文校● る文様專● に章に書● に趣いた高● めをもの資● 。能文檢小● 。能文檢小● 。能文檢小●</p>	<p>文學士 橋本辰彦著</p> <p>自學自習 趣味の東洋歴史</p> <p>送定四四 料價六六 一〇二二頁装</p> <p>習意● 及の材● 入思● 便入流● な學背● ら試景● 。考や● 。考や● 。考や●</p>	<p>文學士 橋本辰彦著</p> <p>自學自習 趣味の西洋歴史</p> <p>送定四四 料價六六 一〇二二頁装</p> <p>し表● て解● 。學● 。學● 。學● 。學● 。學● 。學●</p>	<p>文學士 橋本辰彦著</p> <p>自學自習 趣味の日本歴史</p> <p>送定四四 料價六六 一〇二二頁装</p> <p>深の豊編● く諸臣集● 。敘問迄● 。敘問迄● 。敘問迄● 。敘問迄● 。敘問迄●</p>

＝書考參驗受及習自＝

重版	七十二版	再版	重版	重版	五十四版
<p>中等教育研究聯盟編</p> <p>現代 世界地理</p> <p>送定五新 料價六判 一〇二二頁装</p> <p>且の編● つ材其書● 自料は一● 習富内現● に容は代● 便富新● 。便富新● 。便富新●</p>	<p>角田政治著</p> <p>自學自習 趣味の世界地理</p> <p>送定四上 料價六判 一〇二二頁装</p> <p>のたの● 。たの● 。たの● 。たの● 。たの● 。たの●</p>	<p>橋本辰彦著</p> <p>受驗指導 新しい日本地理</p> <p>送定四四 料價六六 一〇二二頁装</p> <p>り各府● 。各府● 。各府● 。各府● 。各府● 。各府●</p>	<p>中等教育研究聯盟編</p> <p>現代 日本地理</p> <p>送定五新 料價六判 一〇二二頁装</p> <p>なもい各● 。い各● 。い各● 。い各● 。い各● 。い各●</p>	<p>中等教育研究聯盟編</p> <p>現代 日本地理</p> <p>送定五新 料價六判 一〇二二頁装</p> <p>験練質統● 。質統● 。質統● 。質統● 。質統● 。質統●</p>	<p>角田政治・橋本辰彦共著</p> <p>改訂中等 趣味の日本地理</p> <p>送定四六 料價六判 一〇二二頁装</p>

東京座口替振 行發社友三 區谷四市京東 八八ノ一宿新
番〇三一七二

東京座口替振 行發社友三 區谷四市京東 八八ノ一宿新
番〇三一七二

編會究研導指業職

書叢導指業職

1	飛行家になるには	どんな方法でどうすれば飛行家になれるか、つ少年航空兵の入隊手續及試験問題も掲げ、陸軍軍人に志願する方法と其の手續及び昇給する道。士官學校入學試験問題等。
2	陸軍軍人になるには	海軍軍人に志願する方法と其の手續及昇給と收入並に兵學校入學試験問題集。
3	海軍軍人になるには	醫師になる迄の順次と其の收入及び費用、醫學校に入學する方法等で分り易い醫師になる手引書である。
4	醫師になるには	齒科醫になる迄の順次と其の收入及費用齒科醫學校に入學する方法等。
5	齒科醫になるには	看護婦になる迄の道を良く判り安く其の手續と收入及び獨學者の取るべき方法も説いてある。
6	看護婦になるには	新聞記者になる迄の使命と其の記者になる迄の順次方法が判り安く叙述されてある。
7	新聞記者になるには	小學校教員になる獨學受驗方法及其の順次手續方法が判り安く叙述してある。
8	小學校教員になるには	西洋畫家になるもの使命と畫の畫き方法及畫家の一般知識を説明してある。
9	洋畫家になるには	理髮師になる順次と方法及手續及試験問題と其の模範解答が添へてある。
10	理髮師になるには	

以下續刊中
冊各 定價金四十錢
送料金 四錢

京東座口替振 行發社友三 區谷四市京東 番〇三一七二 八八ノ一宿新

編會究研導指業職

書叢導指業職

11	美容師になるには	風采は其人格のあらはれである美容師になる方法及び收入試験問題。美容學校入學手續及法規等實に手に取るやうに書いてある。
12	自動車運轉手になるには	自動車は現代文明の兒である。これを運轉するにはどうすればよいか。先づ本書を讀め。
13	巡查になるには	あの徽章・あの剣をつるに至るまでの準備方法・試験問題等實に徹に入る説明書なり。
14	外交官になるには	西に、東に國威を輝かし、又その會社・商店の名をあらはす前哨こそ外交である。ならぬこの名譽ある外交官になるには……
15	文士になるには	文學は、文章による具體的の人間活動の再現である。藝術・現代文學(小説)文學者。迎へべき道の四章に互に、其概念が與へてある。
16	逓信官吏になるには	逓信講習所の試験を及第すれば男女を問はず比較的安きに就職出来るが、これをなす方法を一歩始終くわしく書いてある。
17	産婆になるには	偉人賢子をとらあげ名譽ある産婆になる。醫學の道は良く判り易く其の手續、收入及び獨學の方法等の説明してある。
18	音樂家になるには	音樂にはいろいろ種類があるが本書には重に西洋樂器につき叙述してある。
19	營林省官吏になるには	營林省官吏になるその手續・試験期日受驗までこれ程くわしい本は他に無い。
20	鐵道員になるには	汽笛一聲棒太から臺灣まで。いや日本から登龍法までもつなぐ互に説明書してあ。

以下續刊中
冊各 定價金四十錢
送料金 四錢

京東座口替振 行發社友三 區谷四市京東 番〇三一七二 八八ノ一宿新

終

